

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度
年報

令和 5 年度

展示事業一覧	2 p
沿革	3 - 4 p
目次	5 p
カレンダー	6 - 9 p

2023（令和5）年度展示事業一覧

■特別展事業

会場	名称	会期
蘭島閣美術館	特別展 村上海賊と蒲刈島	2023（令和5）年9月2日〔土〕－10月29日〔日〕
三之瀬御本陣芸術文化館	特別展 今井真正 土から生まれる命の輝き	2023（令和5）年10月26日〔木〕－12月18日〔月〕

■所蔵品公開事業

会場	名称	会期
蘭島閣美術館	所蔵品展Ⅰ 描かれたいきものたち	2023（令和5）年7月15日〔土〕－8月28日〔月〕
	所蔵品展Ⅱ 日本画の巨匠たち～日本美術院の作家を中心に	2023（令和5）年11月3日〔金・祝〕－2024（令和6）年1月8日〔月・祝〕
	所蔵品展Ⅲ 郷土ゆかりの作家たち	2024（令和6）年1月10日〔水〕－3月4日〔月〕
	所蔵品展Ⅳ 四季を彩る花々と風景	2024（令和6）年3月6日〔水〕－4月22日〔月〕

会場	名称	会期
蘭島閣美術館別館	所蔵品展Ⅰ 所蔵品への視点シリーズ・7 顔とトルソー	2023（令和5）年6月7日〔水〕－7月31日〔月〕
	所蔵品展Ⅱ 寺内萬治郎の油彩画	2023（令和5）年8月2日〔水〕－11月13日〔月〕
	所蔵品展Ⅲ 寺内萬治郎の小品集－裸婦に捧げた生涯	2023（令和5）年11月15日〔水〕－2024（令和6）年1月15日〔月〕
	企画展 ーありがとう日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区ー 鉄の記憶 製鉄所のある風景	2024（令和6）年1月17日〔水〕－3月25日〔月〕

会場	名称	会期
三之瀬御本陣芸術文化館	所蔵品展Ⅰ 須田国太郎－芸術家の眼－	2023（令和5）年4月19日〔水〕－6月12日〔月〕
	所蔵品展Ⅱ マチエールってなあ～に－近現代洋画から－	2023（令和5）年6月14日〔水〕－8月21日〔月〕
	所蔵品展Ⅲ 小林和作と須田国太郎	2023（令和5）年8月23日〔水〕－10月20日〔金〕
	所蔵品展Ⅳ 池田栄廣・琳子 二人展	2023（令和5）年12月22日〔金〕－2024（令和6）年2月19日〔月〕
	所蔵品展Ⅴ 生誕100周年 岡崎勇次	2024（令和6）年2月21日〔水〕－4月22日〔月〕

会場	名称	会期
松清園 陶磁器館	所蔵品展Ⅰ ニッポンのやきもの	2023（令和5）年4月12日〔水〕－6月26日〔月〕
	所蔵品展Ⅱ 古伊万里のつくりかた	2023（令和5）年6月28日〔水〕－9月4日〔月〕
	所蔵品展Ⅲ 継承 古久谷と鍋島	2023（令和5）年9月6日〔水〕－11月27日〔月〕
	所蔵品展Ⅳ 陶磁器、草花の彩り	2023（令和5）年11月29日〔水〕－2024（令和6）年1月29日〔月〕
	所蔵品展Ⅴ 時代と伊万里焼	2024（令和6）年1月31日〔水〕－4月8日〔月〕

会場	名称	会期
松清園 御馳走一番館	所蔵品展Ⅰ 朝鮮通信使行列と絵画	2023（令和5）年4月12日〔水〕－6月26日〔月〕
	所蔵品展Ⅱ 馬上才と朝鮮通信使	2023（令和5）年6月28日〔水〕－9月4日〔月〕
	所蔵品展Ⅲ 朝鮮通信使と船の旅	2023（令和5）年9月6日〔水〕－11月27日〔月〕
	所蔵品展Ⅳ 朝鮮通信使をもてなした料理	2023（令和5）年11月29日〔水〕－2024（令和6）年1月29日〔月〕
	所蔵品展Ⅴ 唐子と朝鮮通信使	2024（令和6）年1月31日〔水〕－4月8日〔月〕

沿革

設立経緯と現況

下蒲刈島は、広島県の中部島地域に位置し、古くから海上交通の要衝として栄え、江戸時代には幕府が海駅を設置し西国大名や朝鮮通信使の寄港地として重要な位置を占めていました。

現在、蘭島閣美術館を中心として立地する下蒲刈島の文化施設群は、下蒲刈町政時代の1986（昭和61）年、下蒲刈町長竹内弘之氏（故人）が提唱した「活力ある個性豊かな町づくり」という町政指針にその端を発しています。

その指針のもと、下蒲刈町では1986（昭和61）年から1988（昭和63）年までの3年間の間に移動美術展を招致するなどし、地域住民の文化理解を促し、その後の美術館施設建設に向けた気運を高める活動をおこなってきました。1988（昭和63）年度の下蒲刈町予算編成における「教育文化の振興」指針に基づき、同年、美術館・図書館・資料館建設の調査費が計上されるに至り、1991（平成3）年度に「文化と歴史の町」と「ガーデンアイランド構想（全島庭園化構想）」を下蒲刈町の新たな町づくりの基本方針として整備が進められ、蘭島閣美術館を始めとする中核文化施設と庭園などの整備を進めてきました。現在に至るまでに約3,700点のコレクションを収集し、美術・歴史・環境を含めたさまざまな文化施設が誕生しました。

町政から財団運営へ

全国的な市町村合併の流れの中、下蒲刈町は2003（平成15）年、呉市と合併しました。その前年の2002（平成14）年4月に第1回呉市・下蒲刈町合併協議会が開催されました。市政移行準備とともに、財団法人蘭島文化振興財団の設立準備も進められ、2002（平成14）年10月1日に財団法人蘭島文化振興財団が設立されます。合併により、町政時代の建造物、コレクションはすべて呉市所管となりました。続いて、2004（平成16）年には三之瀬御本陣芸術文化館が開館します。これにより、ハード面の文化施設の建設がすべて終了しました。2003（平成15）年から2005（平成17）年の3年間は、財団法人蘭島文化振興財団*1が呉市からの管理運営受託、そして、2006（平成18）年から2009（平成21）年の4年間、財団法人蘭島文化振興財団は呉市との協定により下蒲刈島の文化施設群「蘭島文化振興施設」の指定管理者として運営管理をおこなってきました。以降、2022（令和4）年度現在、第3期目の指定管理者として、管理運営をおこなっています。

*1 2012（平成24）年4月1日、公益財団法人へ移行。

公益財団法人蘭島文化振興財団の役割

当財団は、地域文化の振興を目指した諸事業をおこなうとともに、地域文化に関する教育普及活動の推進を図り、市民の文化振興と地域社会の健全な発展に寄与することを目的とします。（定款第3条）目的達成のための事業（定款第4条）は、①蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館における芸術文化振興事業②昆虫の家における自然環境保全啓発事業③松濤園における芸術文化振興事業④白雪楼、春蘭荘・松頼亭・煎茶室における芸術文化振興事業⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業、以上5事業からなっています。

公益財団法人蘭島文化振興財団が指定管理する蘭島文化振興施設

2023（令和5）年度、当財団が管理運営する蘭島文化振興施設は、①蘭島閣美術館、②蘭島閣美術館別館、③三之瀬御本陣芸術文化館、④松濤園、⑤白雪楼、⑥昆虫の家「頑愚庵」、⑦春蘭荘、松頼亭及び煎茶室です。

□沿革

1991（平成3）年	蘭島閣美術館開館
1994（平成6）年	松清園開館
1996（平成8）年	白雪楼開館
1997（平成9）年	蘭島閣美術館別館開館
1998（平成10）年	昆虫の家「頑愚庵」開館
2001（平成13）年	第1回ギャラリーコンサート開催
2001（平成13）年	蘭島閣美術館開館10周年「須田国太郎展」開催
2002（平成14）年	第1回呉市・下蒲刈町合併協議会開催（以後5回）
	蘭島文化振興財団設立事前説明会開催
	呉市・下蒲刈町合併協定調印式（小笠原臣也呉市長と竹内弘之下蒲刈町長による調印式）
	蘭島文化振興財団設立事前説明会開催
	蘭島文化振興財団設立許可申請
	蘭島文化振興財団設立許可
	蘭島文化振興財団登記申請
	財団法人蘭島文化振興財団設立
2003（平成15）年	韓国鎮海市長ほか、松清園など視察
	韓国からムクゲの苗100本寄贈受ける
	下蒲刈町、呉市と合併
	松清園入場者20万人
	第1回朝鮮通信使再現行列開催
2004（平成16）年	三之瀬御本陣芸術文化館開館
	三之瀬御本陣芸術文化館開館記念特別展「福田平八郎展」開催
	松清園開館10周年記念特別展「朝鮮通信使の道のり展—交流の足跡—」開催
	『松清園開館10周年記念呉市・鎮海市友好姉妹都市提携5周年記念古伊万里名品図録』発刊
2005（平成17）年	「21世紀の日韓こども通信使」下蒲刈島訪問
2009（平成21）年	竹内弘之理事長死去
	渡辺理一郎理事長就任
2010（平成22）年	年中無休から火曜日休館の実施へ
	ギャラリーコンサート10周年
2011（平成23）年	蘭島閣美術館開館20周年
2012（平成24）年	公益財団法人化
	朝鮮通信使再現行列10周年
2014（平成26）年	松清園開館20周年
	三之瀬御本陣芸術文化館開館10周年
2015（平成27）年	ギャラリーコンサート15周年
2019（平成31/令和元）年	渡辺理一郎理事長退任
	海生泰定理事長就任
	三之瀬御本陣芸術文化館開館15周年
	松清園開館25周年
2020（令和2）年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館
	期間：3月9日〔月〕～2020（令和2）年度5月10日〔日〕
	白雪楼、春蘭荘、松籟亭は5月19日〔火〕まで臨時休館
2021（令和3）年	蘭島閣美術館開館30周年
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館
	期間：8月27日〔金〕～9月30日〔木〕、及び2022（令和4）年1月9日〔日〕～2月20日〔日〕

目次

■目次	■展示事業一覧	2p
	■沿革	3－4p
	■目次	5p
■事業カレンダー	■2023（令和5）年度事業カレンダー	6－9p
■特別展事業	■蘭島閣美術館 特別展	12－16p
	■三之瀬御本陣芸術文化館 特別展	17－20p
■展示公開事業	■蘭島閣美術館 所蔵品公開事業	22－23p
	■蘭島閣美術館別館 所蔵品公開事業	26－27p
	■三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品公開事業	30－32p
	■松濤園 陶磁器館 所蔵品公開事業	34－36p
	■松濤園 御馳走一番館 所蔵品公開事業	38－40p
	■通年展示	42－45p
	■公開スペース一覧	48－54p
■その他の公開	■インターネット	56－57p
	■資料貸出	58p
	■画像提供	59p
	■資料閲覧	60p
■普及事業・市民サービス・財団事業	■普及事業（ギャラリートーク・講演会・ワークショップ・関連イベント）	62－66p
	■市民サービス（茶会・美術館ピアノ）	67－70p
	■財団事業（朝鮮通信使再現行列・ふれあい昆虫教室・ふれあい海岸教室・ギャラリーコンサート）	71－76p
■運営データ	■収集・保存・整理	78p
	■協力・広報	79p
	■入館者数	80p
	■関係法規	81－84p
■利用案内	■利用案内	86－87p
■奥付	■奥付	88p

2023（令和5）年度事業カレンダー

月	特別展事業（会場）	蘭島閣美術館	蘭島閣美術館別館
4			
5			
6			6月7日〔水〕－7月31日〔月〕 所蔵品展Ⅰ 所蔵品への視点シリーズ・7 顔とトルソー
7		7月15日〔土〕－8月28日〔月〕 所蔵品展Ⅰ 描かれないきものたち	
8			8月2日〔水〕－11月13日〔月〕 所蔵品展Ⅱ 寺内萬治郎の油彩画
9	9月2日〔土〕－10月29日〔日〕 特別展 村上海賊と蒲刈島 （会場：蘭島閣美術館）	特別展事業開催	
10			
11	10月26日〔木〕－12月18日〔月〕 特別展 今井真正 土から生まれる命の輝き （会場：三之瀬御本陣芸術文化館）	11月3日〔金・祝〕－1月8日〔月・祝〕 所蔵品展Ⅱ 日本画の巨匠たち ～日本美術院の作家を中心に	11月15日〔水〕－1月15日〔月〕 所蔵品展Ⅲ 寺内萬治郎小品集 一裸婦に捧げた生涯
12			
1		1月10日〔水〕－3月4日〔月〕 所蔵品展Ⅲ 郷土ゆかりの作家たち	1月17日〔水〕－3月25日〔月〕 企画展 一ありがとう日本製鉄株式会社 瀬戸内製鉄所呉地区－ Technoscape Kure 鉄の記憶 製鉄所のある風景
2			
3		3月6日〔水〕－4月22日〔月〕 所蔵品展Ⅳ 四季を彩る花々と風景	

月	三之瀬御本陣芸術文化館	松清園 陶磁器館	松清園 御馳走一番館	ギャラリートーク
4				
5	4月19日〔水〕－6月12日〔月〕 所蔵品展Ⅰ 須田国太郎－芸術家の眼－	4月12日〔水〕－6月26日〔月〕 所蔵品展Ⅰ ニッポンのやきもの	4月12日〔水〕－6月26日〔月〕 所蔵品展Ⅰ 朝鮮通信使行列と絵画	
6	6月14日〔水〕－8月21日〔月〕 所蔵品展Ⅱ マチエールってなあ～に －近現代洋画から－			
7		6月28日〔水〕－9月4日〔月〕 所蔵品展Ⅱ 古伊万里のつくりかた	6月28日〔水〕－9月4日〔月〕 所蔵品展Ⅱ 馬上才と朝鮮通信使	
8				
9	8月23日〔水〕－10月20日〔金〕 所蔵品展Ⅲ 小林和作と須田国太郎	9月6日〔水〕－11月27日〔月〕 所蔵品展Ⅲ 継承 古久谷と鍋島	9月6日〔水〕－11月27日〔月〕 所蔵品展Ⅲ 朝鮮通信使と船の旅	●蘭島閣美術館 【特別展 村上海賊と蒲刈島開会式】 9月2日（土）午前10時から ●蘭島閣美術館 【特別展 村上海賊と蒲刈島スペシャルギャラリートーク】（講師：松花菜摘） 9月2日（土）午前10時20分から午前11時
10				●三之瀬御本陣芸術文化館 【特別展 今井真正 土から生まれる命の輝き 開会式】10月26日（木）午前10時から ●三之瀬御本陣芸術文化館 【今井真正によるアーティストトーク】 10月26日（木）午前10時25分から
11	特別展事業開催			
12		11月29日〔水〕－1月29日〔月〕 所蔵品展Ⅳ 陶磁器、草花の彩り	11月29日〔水〕－1月29日〔月〕 所蔵品展Ⅳ 朝鮮通信使をもてなした料理	
1	12月22日〔金〕－2月19日〔月〕 所蔵品展Ⅳ 池田栄廣・琳子 二人展			●三之瀬御本陣芸術文化館 【今井真正によるアーティストトーク】 12月1日（金）午後2時から午後3時10分
2		1月31日〔水〕－4月8日〔月〕 所蔵品展Ⅴ 時代と伊万里焼	1月31日〔月〕－4月8日〔月〕 所蔵品展Ⅴ 唐子と朝鮮通信使	
3	2月21日〔水〕－4月22日〔月〕 所蔵品展Ⅴ 生誕100周年 岡崎勇次			

月	ワークショップ	講演会	イベント	ギャラリーコンサート
4	●三之瀬御本陣芸術文化館 [フェルトでバラのコサージュを作ろう!] 4月29日(土) 午前10時から午後3時まで			●第268回〜夢のかけはし〜 蘭島閣ギャラリーコンサート 店村真積(ヴィオラ) 練木繁夫(ピアノ) 於：蘭島閣美術館 4月15日(土) 午後6時30分から午後8時10分
5				●第269回〜夢のかけはし〜 蘭島閣ギャラリーコンサートは G7サミットの 影響のため中止
6				●第270回〜夢のかけはし〜 蘭島閣ギャラリーコンサート 小森邦彦(マリンバ) 稲垣佑馬(マリンバ) 於：蘭島閣美術館 6月17日(土) 午後6時30分から午後8時10分
7				●第271回〜夢のかけはし〜 蘭島閣ギャラリーコンサート 上野耕平(サクソフォン) 高橋優介(ピアノ) 於：蘭島閣美術館 7月15日(土) 午後6時30分から午後8時10分
8				●第272回〜夢のかけはし〜 蘭島閣ギャラリーコンサート 茂山千之丞(狂言・舞) 山村有佳里(ピアノ) 於：蘭島閣美術館 8月19日(土) 午後6時30分から午後8時10分
9	●蘭島閣美術館 [海色のフォトフレームをつくろう] 9月9日(土)、10日(日) 午前10時から正午、 午後13時から午後15時	●蘭島閣美術館 [特別展 村上海賊と蒲刈島 講演会「海の領主多 賀谷氏と村上海賊」](講師：山内謙) 9月30日(土) 午後13時30分から午後3時	●蘭島閣美術館 [特別展 村上海賊と蒲刈島 試着体験「陣羽織を 着てみよう」] 9月23日(土・祝)、24日(日)、10月7日(土)、 8日(日)、9日(月・祝) 午後9時から午後4 時30分	●第273回〜夢のかけはし〜 蘭島閣ギャラリーコンサート 大谷康子(ヴァイオリン) 小山さゆり(ピアノ) 於：蘭島閣美術館 9月16日(土) 午後6時30分から午後8時10分
10				●第274回〜夢のかけはし〜 蘭島閣ギャラリーコンサート 遠藤真理(チェロ) 三船優子(ピアノ) 於：蘭島閣美術館 10月21日(土) 午後6時30分から午後8時10分
11	●蘭島閣美術館 [消しゴムで辰のはんこをつくろう] 2023(令和5)年 11月25日(土)、12月2日(土)、 12月3日(日) 午前10時30分から午後4時 ●三之瀬御本陣芸術文化館 [土で生き物をつくってみよう!] 11月26日(日) 午後1時から午後4時まで			●第275回〜夢のかけはし〜 蘭島閣ギャラリーコンサート 石岡久乃(ピアノ) 安宅薫(ピアノ) 於：蘭島閣美術館 11月18日(土) 午後6時30分から午後8時10分
12				●第276回〜夢のかけはし〜 蘭島閣ギャラリーコンサート 小山実雅恵(ピアノ) 於：蘭島閣美術館 12月16日(土) 午後6時30分から午後8時10分
1				●第277回〜夢のかけはし〜 蘭島閣ギャラリーコンサート 正戸里佳(ヴァイオリン) 岡田将(ピアノ) 於：蘭島閣美術館 1月20日(土) 午後6時30分から午後8時10分
2	●三之瀬御本陣芸術文化館 [マーブリングでコースターをつくろう] 2月23日(金・祝) 午前10時から午後3時まで			●第278回〜夢のかけはし〜 蘭島閣ギャラリーコンサート 堀米ゆず子(ヴァイオリン) 占部由美子(ピアノ) 於：蘭島閣美術館 2月17日(土) 午後6時30分から午後8時10分
3			●三之瀬御本陣芸術文化館 [岡崎勇次のスケッチブック展覧会] 3月20日(水・祝) 午後1時30分から午後2 時30分まで	●第279回〜夢のかけはし〜 蘭島閣ギャラリーコンサート 吉田悠人(クラリネット) 野山真希(ピアノ) 於：蘭島閣美術館 3月16日(土) 午後6時30分から午後8時10分

月	市民サービス	財団事業	その他	備考
4	●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで			
5	●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで			
6	●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで			
7	●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで	●昆虫の家 [ふれあい昆虫教室] 7月30日(日)		
8	●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで	●昆虫の家 [ふれあい海岸教室] 8月2日(水)		
9	●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで		●ミニコンサート 大谷康子(ヴァイオリン) 小山さゆり(ピアノ) 9月15日(金) 於: 呉市立蒲刈中学校体育館	
10	●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで			
11	●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで ●松涛園 [秋の茶会] 11月11日(土)、11月12日(日)			
12	●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで	●昆虫の家 [開館25周年記念 昆虫イラスト展] 12月13日(木)から2月18日(月)		
1	●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで			
2	●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで			
3	●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで ●松涛園 [春の茶会] 3月9日(土)、3月10日(日)			

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度 年報

令和 5 年度

特別展 12-16p

村上海賊と蒲刈島

特別展 17-20p

今井真正 土から生まれる命の輝き

特別展

村上海賊と蒲刈島

2023（令和5）年9月2日（土）－10月29日（日）

村上海賊は14世紀中ごろから瀬戸内海で活躍した一族である。後世には三島村上氏などと呼ばれ、能島、来島、因島に本拠をおいた三家からなり、連携と離反を繰り返しつつも互いに強い同族意識をもっていた。彼らは海の難所である芸予諸島で育まれた海上機動力を背景に、戦国時代になると瀬戸内海を支配し、国内の軍事・政治や海運の動向をも左右した。本展ではこうした村上海賊の中でも伊予大島と伯方島の間の狭い水路上に浮かぶ能島（愛媛県今治市）を本拠とした能島村上氏と蒲刈島とのつながりに迫った。

（1）日本最大の海賊・村上氏

戦国時代に宣教師ルイス・フロイスから「日本最大の海賊」と称された村上海賊。村上海賊は能島、来島、因島の三つからなる海の領主であり、西は周防上関あたりから、東は備讃瀬戸まで広く瀬戸内の海で活躍した。本章では能島村上家に伝来する貴重な資料から村上海賊の歴史に迫った。

「猩々陣羽織」は能島村上家に伝わる大将の陣羽織である。全盛期の当主である村上武吉と景親の父子が着用したと伝わる。陣羽織には「猩々」という架空の霊獣の血で染めたという伝承があり、魔除けや除災の意味があると言われている。生地はラシャで、袖の縫製技術などが非常に高度であり、海外で制作された可能性が指摘されている。また、染料はコチニールであることも近年の研究で明らかになった。本章では伝来資料の中でも特に大切にされてきた能島村上家の至宝とされる貴重な資料を展示した。また1576（天正4）年から1582（天正10）年の毛利氏と織田氏の戦いの中、来島村上氏は織田方の勧誘に乗り、毛利氏から離反。その後来島村上氏は豊臣大名として自立し、以後秀吉の命で動くことになった。そのことがわかる久留島家文書 豊臣秀吉朱印状のパネルも展示し、村上海賊について紹介した。

（2）村上海賊の娘

本章では、2014（平成26）年本屋大賞を受賞した和田竜氏の小説『村上海賊の娘』を原作とし、コミカライズを吉田史朗氏が手がけた漫画版『村上海賊の娘』の作品原画を展示した。原作となった小説『村上海賊の娘』は長編歴史小説で、1576（天正4）年の第一次木津川口の戦いを舞台の中心に、村上海賊の当主・村上武吉の娘景を主人公にしている。

展示では、小説の原稿や漫画の原画とともに、安宅船や小早船、ほうろく玉の模型を展示し、毛利氏と織田氏の間に起った第一次木津川口の戦いの様子を紹介した。この戦いでは、村上氏のほうろく玉によって織田方は壊滅的な打撃を受け、毛利氏は石山本願寺への兵糧などの物資の搬入を果たすことができた。

（3）村上海賊と蒲刈島

村上氏と蒲刈島とは、萩藩主毛利吉元が永田政純に命じ、毛利氏家譜及び家臣伝来の古文書や家系図を編纂させた江戸時代の史料集「閥閥録」（1726（享保11）年成立）に見られる。村上景親が堪忍料として蒲刈両島を与えられたと記されているなど両者の関わりをみることができる。

また「武家万代記」、別名「三島海賊家軍日記」には、村上氏が関所破りをした陶氏配下の廻船に対する報復を行った場所として、上蒲刈と下蒲刈両島の間の瀬戸が登場する。天文20（1551）年、陶晴賢（すえはるかた）配下の廻船30隻が上関を強引に通過。その知らせを受け立腹した村上武吉が因島村上氏と連絡を取り、80隻の船を安芸国蒲刈瀬戸に派遣し陶氏の船を待ち伏せ、鉄砲やほうろく玉を使用して報復している。この時村上武吉は鉄砲を陸地に事前に用意し、上蒲刈島の島陰を利用し能島村上の船を配置させ、中央に因島の船を配して待ち伏せするなど、巧みな戦術を展開したことが記されており、当館の目の前にある三之瀬の瀬戸で繰り広げられた事件についても触れることができた。

（4）近世村上家と朝鮮通信使

四国九州平定を終えた豊臣秀吉は、1588（天正16）年に「海賊禁止令」を發布。これにより海賊たちはこれまでおこなってきた海上での私的な経済活動が「賊船行為」として禁止された。また能島村上氏は1587（天正15）年頃には本拠である能島城を退去したと考えられており、その後は慣れ親しんだ瀬戸内海から離れ、九州や長門国大津郡などを転々としていく。

江戸時代になると、能島村上氏は萩藩の御船手組として三田尻（山口県防府市）を拠点に活動をはじめた。村上景親の息子である村上元信は「御船手組頭」となり、参勤交代の送迎や漂流船への対応、朝鮮通信使の警固など海に関するさまざまな仕事を担当していた。



本章では能島村上氏が携わった御船手組の対応が分かる毛利家家臣書状を三つの仕事に区分けし紹介した。書状の中には朝鮮通信使の警固で下関から蒲刈島まで海上の案内者として村上元信が派遣されるといった内容のものもあり、村上海賊と蒲刈島、そして朝鮮通信使との関わりをうかがうことができた。また入船山記念館所蔵の村上海賊にゆかりのある資料や、個人蔵（呉市在住）の戦術絵図など呉市にも村上海賊に係る資料が存在していることもあわせて紹介した。

（５）海の領主 多賀谷氏

安芸国蒲刈島は上蒲刈島と下蒲刈島の二つの島からなっており、ともに安芸灘に浮かぶ芸予諸島西部の島で、両島の間には三之瀬の瀬戸が通じている。この両島のある海域は古くから航行の要衝として多数の船舶が航行しており、このような海域は海賊にとっても格好の活動場所となることから蒲刈島近辺は海賊が活動する海域でもあった。下蒲刈の三之瀬地区と下島地区の間にある天神鼻に丸屋城を築き、周辺の海域を勢力圏の海域を航行する船舶から徴収する通行税から収益を得ていた。彼らは通行税が支払われれば上乗りをして水先案内人を務めるなど警固の役目を果たしていた。多賀谷氏は大名から雇用されて水軍となっており働いたこともあったが、大名の封建体制の枠に組み込まれる事は拒否している。河野氏や大内氏、毛利氏と次々にその麾下（きか）に入っているが、その下にあっても独自性は失っておらず、最盛期には蒲刈多賀谷氏だけで 160 隻から 170 隻の警固船を持つほどの大きな勢力だった。本章ではこうした多賀谷氏の足跡がうかがえる場所や資料をパネルで紹介した。（山下裕子）

特別展名称	村上海賊と蒲刈島
会場	蘭島閣美術館
主催	公益財団法人 蘭島文化振興財団、呉市、中国新聞社
後援	NHK 広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FM ちゅーピー 76.6MHz
特別協力	今治市村上海賊ミュージアム、ヤマト運輸株式会社
関連行事	●スペシャルギャラリートーク 講師：松花菜摘氏（今治市村上海賊ミュージアム学芸員） 2023（令和５）年９月２日（土）午前 10 時 20 分から午前 11 時 ●ワークショップ 海色のフォトフレームをつくろう 2023（令和５）年 9 月 9 日（土）、9 月 10 日（日）午前 10 時から午前 12 時、午後 1 時から午後 3 時 ●試着体験 陣羽織を着てみよう 2023（令和５）年 9 月 23 日（土・祝）、9 月 24 日（日）、10 月 7 日（土）、10 月 8 日（日）、10 月 9 日（月・祝）午前 9 時から午後 4 時 30 分 ●講演会 「海の領主多賀谷氏と村上海賊」 講師：山内譲氏（元松山大学教授） 2023（令和５）年 9 月 30 日（土）午後 1 時 30 分から午後 3 時
おもな関連記事、番組など	

○中国新聞の主催事業」中国新聞、2023（令和５）年 8 月 11 日 ○「Yahoo！ロコ」

Yahoo！プレイス、2023（令和５）年 8 月 26 日から 10 月 25 日 ○「市政だより くれ」9 月号、呉市 ○「市政だより くれ」10 月号、呉市 ○「村上海賊 × 蒲刈 関係は」中国新聞、2023（令和５）年 9 月 3 日 ○「村上海賊の姿に迫る」中国新聞、2023（令和５）年 9 月 14 日 ○「ちゅーピーくらぶ会員とく得情報」中国新聞、2023（令和５）年 9 月 20 日 ○「イベントナビ」中国新聞、2023（令和５）年 9 月 22 日 ○「蘭島閣美術館特別展 村上海賊と蒲刈島 上」中国新聞、2023（令和５）年 9 月 29 日 ○「蘭島閣美術館特別展 村上海賊と蒲刈島 中」中国新聞、2023（令和５）年 9 月 30 日 ○「蘭島閣美術館特別展 村上海賊と蒲刈島 下」中国新聞、2023（令和５）年 10 月 1 日 ○「ミュージアムで会いましょう」中国新聞、2023（令和５）年 9 月 30 日 ○「ギャラリー」読売新聞、2023（令和５）年 9 月 29 日 ○「われら！呉 Tuber」広島テレビ、2023（令和５）年 9 月 5 日 ○「ART」『くれえばん』9 月号、株式会社 SA メディアラボ ○「mom information」『くれえばんmam』株式会社 SA メディアラボ、2023（令和５）年 9 月 8 日、9 月 19 日 ○「マツダスタジアム JR 側得点表示板」広島広域都市圏協議会、2023（令和５）年 9 月 1 日～9 月 30 日 ○「ニュースデイズ」株式会社テレビ新広島、2023（令和５）年 9 月 20 日 ○「おでかけ TOPICS」『リビング広島』広島リビング新聞社、2023（令和５）年 9 月 15 日 ○「列島 北から南から」共同通信

印刷物
●ポスター B2 判 700 部
●チラシ A4 判（両面刷り） 25,000 部
●出品目録 A3 判（両面刷り）

No.	資料名　＊作者、資料名の順	時代・年代など	おもな材質	形状	寸法 (縦×横、その他) または (縦×横×奥行) cm	所蔵
-----	---------------	---------	-------	----	--	----

(1) 日本最大の海賊・村上氏

1	能島城出土土師質土器釜		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
2	能島城出土　土師質土器釜		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
3	能島城出土　瓦質土器鍋		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
4	能島城出土　備前焼甕		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
5	能島城出土　備前焼壺		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
6	能島城出土　化粧道具　鉄漿皿		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
7	能島城出土　砥石		砥石			今治市村上海賊ミュージアム
8	能島城出土　かわらけ灯明皿		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
9	能島城出土　釘　2点		金属			今治市村上海賊ミュージアム
10	能島城出土　土錘　2点		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
11	能島城出土　瀬戸美濃天目茶碗		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
12	能島城出土　青磁香炉		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
13	能島城出土　基石　2点		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
14	能島城出土　硯		石			今治市村上海賊ミュージアム
15	能島城出土　水差		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
16	能島城出土　小札　2点		武具			今治市村上海賊ミュージアム
17	能島城出土　鎖帷子		武具			今治市村上海賊ミュージアム
18	能島城出土　八双金物		武具			今治市村上海賊ミュージアム
19	能島城出土　刀装具		武器			今治市村上海賊ミュージアム
20	能島城出土　小刀		武器			今治市村上海賊ミュージアム
21	能島城出土　鉄鏃　2点		武器			今治市村上海賊ミュージアム
22	能島城出土　携帯用砥石		砥石			今治市村上海賊ミュージアム
23	見近島出土　中国産青釉小皿		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
24	能島城出土　華南三彩水注		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
25	見近島出土　中国産青花碗		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
26	見近島出土　中国産青花皿		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
27	見近島出土　中国産青磁碗		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
28	見近島出土　中国産青磁皿		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
29	見近島出土　中国産白磁碗		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
30	能島城出土　朝鮮半島産灰青沙器小皿		陶器			今治市村上海賊ミュージアム
31	能島村上家伝来　猩々陣羽織		布（羽織）			個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
32	能島村上家伝来　色々威腹巻	室町時代後期	武具			個人蔵・ 今治市村上ミュージアム保管
33	過所船旗　複製		布		120.0×100.0	今治市村上海賊ミュージアム
34	能島村上家伝来　太刀銘国俊	鎌倉時代	刀		長さ 90.7	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
35	能島村上家伝来　薙刀銘安藝国住人藤原冬廣	江戸時代	刀		長さ 47.5	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
36	能島村上家伝来　槍無銘	江戸時代	槍		長さ 38.2	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
37	村上通康肖像画　複製	時代不詳	複製	軸装		今治市村上海賊ミュージアム
38	村上通総肖像画　複製	時代不詳	複製	軸装		今治市村上海賊ミュージアム
39	久留島家文書　豊臣秀吉朱印状	1589（天正17）年	紙・印刷	パネル		個人蔵
40	久留島家文書　豊臣秀吉朱印状	1590（天正18）年	紙・印刷	パネル		個人蔵
41	久留島家文書　豊臣秀吉朱印状		紙・印刷	パネル		個人蔵
42	毛利元就書状		紙・印刷	パネル		個人蔵
43	能島村上家伝来　紫系威曲輪	室町時代末期	武具			個人蔵・ 今治市村上ミュージアム保管

(2) 村上海賊の娘

44	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第1巻 第3話原稿	紙・インク	額装	364×25.8	小学館
45	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第1巻 第3話原稿	紙・インク	額装	364×25.8	小学館
46	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第1巻 第4話原稿	紙・インク	額装	364×25.8	小学館
47	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第4巻 第34話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
48	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第4巻 第35話原稿	紙・インク	額装	364×25.8	小学館
49	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第5巻 第43話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
50	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第5巻 第45話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
51	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第5巻 第48話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
52	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第5巻 第49話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
53	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第2巻 第19話屏原画	紙・印刷	パネル		小学館
54	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第2巻 装丁	紙・印刷	パネル		小学館
55	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第9巻 装丁	紙・印刷	パネル		小学館
56	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第13巻 装丁	紙・印刷	パネル		小学館
57	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第5巻 第51話原稿	紙・インク	額装	364×25.8	小学館
58	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第6巻 第54話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
59	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第6巻 第57話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
60	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第9巻 第82話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
61	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第9巻 第82話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
62	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第9巻 第82話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
63	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第9巻 第89話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
64	和田竜『村上海賊の娘』新潮社 原稿	原稿用紙		25.7×36.4	今治市村上海賊ミュージアム
65	和田竜『村上海賊の娘』新潮社 原稿	原稿用紙		25.7×36.4	今治市村上海賊ミュージアム
66	和田竜『村上海賊の娘』新潮社 原稿	原稿用紙		25.7×36.4	今治市村上海賊ミュージアム
67	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第10巻 第93話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
68	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第10巻 第93話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
69	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第10巻 第98話原稿	紙・インク	額装	364×25.8	小学館
70	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第10巻 第98話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
71	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第10巻 第98話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
72	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第11巻 第107話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
73	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第12巻 第112話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
74	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第12巻 第113話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
75	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第13巻 第130話原稿	紙・インク	額装	364×25.8	小学館
76	吉田史朗『村上海賊の娘』単行本第13巻 第130話原稿	紙・インク	額装	各 36.4×25.8 (2枚続)	小学館
77	難波船軍図	江戸時代	紙・印刷	パネル	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム寄託)
78	ほうろく玉イメージレプリカ		複製		今治市村上海賊ミュージアム
79	能島村上家伝来 ほら貝	時代不詳	ほら貝		個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
80	小早船模型		木	108×50×32	今治市村上海賊ミュージアム
81	安宅船模型		木	80×150×150	長門の造船歴史館

(3) 村上海賊と蒲刈島

82	能島村上家伝来 村上景親肖像画	時代不詳	紙本彩色	軸装	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
83	能島村上家伝来 横笛	桃山時代から江戸時代	木		個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
84	御感状御証文写	1725 (享保 10) 年 ～ 1726 (享保 11) 年	紙・印刷	パネル	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
85	お歳暮として牡蠣一桶を届いたことを示す書状 (能島村上伝来 「村上家文書」)	時代不詳	紙・印刷	パネル	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
86	虎蹲砲	安土桃山時代	武器		個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管

87	武家万代記	江戸時代初頭	紙	和装本	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム寄託
----	-------	--------	---	-----	-------------------------

(4) 近世村上家と朝鮮通信使

88	御船手組（参勤交代）毛利家家臣連署書状	1660（万治3）年	紙		305×45.0	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
89	御船手組（参勤交代）毛利家家臣連署書状	1660（万治3）年	紙		298×45.8	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
90	御船手組（参勤交代）毛利家家臣書状	1703（元禄16）年	紙		302×45.2	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
91	御船手組（漂流船）毛利家家臣書状	1717（享保2）年	紙		150×80.0	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
92	御船手組（漂流船）毛利家家臣連署書状	1718（享保3）年	紙		150×51.0	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
93	御船手組（朝鮮通信使）毛利家家臣書状	1682（天和2）年	紙		305×45.0	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
94	御船手組（朝鮮通信使）毛利家家臣連署書状	1711（正徳元）年	紙		302×45.5	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
95	朝鮮通信使船上関来航図	1764（明和元）年	紙・印刷	パネル		越前寺
96	御船手組（朝鮮通信使）毛利家家臣連署書状	1655（明暦元）年	紙		305×45.5	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
97	御船手組（朝鮮通信使）毛利家家臣連署書状	1655（明暦元）年	紙		170×17.0	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
98	御船手組（朝鮮通信使）毛利家家臣連署書状	1655（明暦元）年	紙		295×45.0	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
99	御船手組（朝鮮通信使）毛利家家臣連署書状	1655（明暦元）年	紙		297×45.0	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
100	能島村上家伝来 村上元信肖像画	時代不詳	紙本彩色	軸装		個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
101	能島村上家伝来 紅地白引両上字紋幟	時代不詳	布		90.0×17.0	個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
102	提灯かぶと	時代不詳	武具			入船山記念館
103	戦術絵図	時代不詳	紙本彩色	卷子装	247×26	個人蔵
104	能島村上家伝来 舟戦以律抄（江戸時代の兵法書）21冊	江戸時代	紙	和装本		個人蔵・ 今治市村上海賊ミュージアム保管
105	そでがらみ	江戸時代	武器		長さ 263.5	今治市村上海賊ミュージアム
106	くまで	江戸時代	武器		長さ 171.9	今治市村上海賊ミュージアム

(5) 海の領主 多賀谷氏

107	丸子山城模型		模型		70×132 高さ 45	個人蔵・倉橋歴史民俗資料館保管
-----	--------	--	----	--	--------------	-----------------

特別展

今井真正 土から生まれる命の輝き

2023（令和5）年10月26日〔木〕—12月18日〔月〕

安芸灘とびしま海道の玄関口、展望公園「白崎園」にそびえ立つ、巨大なモニュメント《生・土・火・知・空・水》。作品に使用されている土の8割は、当館がある下蒲刈島のもの。採取した土は粘土にされ、約 3,500 枚もの陶板に焼成、それをパズルのように組み合わせで構成されている。安芸灘大橋開通を記念して制作され、下蒲刈の新たなスポットとなっている。本展ではその制作者である陶芸家・今井真正の展覧会を開催した。

今井真正は陶芸家・今井政之氏の長男として生まれ、東京芸術大学では彫刻を学び、立体作品を制作していたが、幼いころから父の制作現場で触れていた土での造形への想いが高まり、本格的に陶芸の道に入った。彫刻的手法による造形を穴窯で高温焼成する表現方法確立。現在は具象的な陶芸に取り組む陶彫作家として知られ、広島県竹原市にある豊山窯と京都の2か所を拠点に、動物や伝説上の生きものをテーマにした作品を多く手がけている。本展では、最新作を含む今にも動き出しそうな陶芸の生きものや、下蒲刈島のモニュメントをはじめとするパブリックアート作品など、幅広く今井真正の作品や活動を紹介した。

(1) 身近な生きもの

イヌやネコなど身近な生きものや、動物園の人気者を題材にした作品を紹介。パンダやヒツジの親子や兄弟など家族を表現したもの、仲間たちと戯れる様子など、何気ない瞬間をまるで日常の一コマのように表情豊かに表現。「人の表情をいろんなものを借りて表現したい」と語る作者は、主題の生きものに自身の想いも投影しながら制作。作品は擬人化された表情を見せ、最後に入れる目には強い力を宿している。

(2) 創作の生きもの

本章では、河童のような伝説上の生きもの、翼のあるカメ、文様が施された生きものなど、形の再構築や装飾を加えることで、作者の想像から生み出された、独創的な生きものを紹介した。

(3) 神聖な生きものたち

日本神話に登場する三本足の《八咫烏》や、京都の伏見稲荷大社に奉納されている作品と同形の《しろぎつね》など、人々の幸せを願

う神聖な生きものをモチーフにした作品を紹介。その他、伝説の霊獣である青龍、朱雀、白虎、玄武の四神を主題にした代表作や、《阿咩》と題した対の唐獅子、長寿や招福の象徴とされるツルやカメ、フクロウなど吉祥の生きものを象った作品を展覧した。

(4) 父・今井政之

陶芸で「面象嵌」と呼ばれる独自の表現方法を確立し、2018（平成30）年に文化勲章を受章した父の今井政之氏。2023（令和5）年5月に広島で開催されたG7サミットでG7首脳及び招待国首脳への贈呈品として贈られた《象嵌彩窯変海老 花瓶》を贈呈時の紹介文とともに展示。また、この作品の完成を見届けて2023（令和5）年3月にご逝去された政之氏の制作時の様子や思いを真正氏の文章で説明を添えた。

(5) 今井家三代

今井家は父の政之氏を初代として、三代にわたる芸術家一家である。それぞれが独自の表現を追求しているが、竹原市にある豊山窯では、年に2回一族総出で窯焼きが行われる。本章では、2019（令和元）年に放送された豊山窯で作品を焼く今井家三代を取材した番組を放映した。

(6) 今井真正のパブリックアート

真正氏はこれまで、陶芸作品以外にも公共的な空間のためのパブリックアートを多く手がけている。本章では、下蒲刈島のモニュメント《生・土・火・知・空・水》の構想から3年に及ぶ制作過程や、試案のためのマケットなどを紹介。また2006（平成18）年に完成した東京競馬場正門前にある《黄金の馬“アハルテケ”》と同形の馬のブロンズ像の展示では、触って、乗って、撮影して楽しめるコーナーを設けた。その他全国のパブリックアート作品を地図と写真で紹介した。

(湯浅ひろみ)



特別展名称	今井真正 土から生まれる命の輝き
会期	2023(令和5)年10月26日(木)ー12月18日(月)
会場	三之瀬御本陣芸術文化館
主催	公益財団法人蘭島文化振興財団、呉市、中国新聞社
後援	中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FM ちゅーピー 76.6MHz
関連行事	●開会式 2023(令和5)年10月26日(木) 午前10時から 場所：三之瀬御本陣芸術文化館1階 ●今井真正氏によるアーティストトーク ①2023(令和5)年10月26日(木) 午前10時25分から ②2023(令和5)年12月1日(金) 午後2時から午後3時10分 場所：三之瀬御本陣芸術文化館展示室 ●ワークショップ「土で生き物をつくってみよう！」 2023(令和5)年11月26日(日) 午後1時から午後4時 講師：今井真正氏 場所：下蒲刈市民センター2階
印刷物	●ポスター B2判(片面刷り) 1,000部 ●チラシ A4判(両面刷り) 32,000部 ●出品目録 A4判(両面刷り)
おもな関連記事、番組など	○「ミュージアムで会いましょう」中国新聞、2023(令和5)年9月30日 ○「中国新聞の主催事業」中国新聞、2023(令和5)年10月6日 ○中国新聞特集、2023(令和5)年10月8日 ○「SETOUCHI MINKA 2024 Living with GARDEN 瀬戸内の庭、株式会社KG 情報、2023(令和5)年10月18日 ○「パ ンダやウサギ動物 70 点」中国新聞、2023(令和5)年10月27日 ○「まるで生き物 陶芸展」読売新聞、2023(令和5)年11月7日 ○「今井真正 土から生まれる命の輝き」上、中、下の3連載、湯浅ひろみ、中国新聞、2023(令和5)年11月17日、18日、19日 ○「今井真正特別展」文化面イベントナビ、中国新聞、2023(令和5)年11月24日 ○『リビングひろしま』広島リビング新聞社、2023(令和5)年11月24日 ○「ART」『くれえばん』11月号、株式会社 SA メディアラボ ○「市政だより くれ」11月号 呉市 ○「市政だより くれ」12月号、呉市 ○マツダスタジアム JR 側得点表示板、広島広域都市圏協議会、2023(令和5)年10月1日から10月30日 ○国道185号沿いデジタルサイネージ、株式会社グラント ○「作品への思い陶芸家に聞く」中国新聞、2023(令和5)年12月6日 ○広場「今井真正さん命輝く陶芸」上野啓介、中国新聞、2023(令和5)年12月24日 ○『安芸灘だより』2月号、下蒲刈まちづくりセンター ○「今井真正 土からはじまる命の輝き」外館和子、『陶説』No.846号、公益財団法人日本陶芸協会 ○「今井真正特別展開会式」タネネットニュースLIVE、株式会社たけはらケーブルネットワーク、2023(令和5)年11月2日放送

特別展「今井真正 土から生まれる命の輝き」 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	寸法（縦 × 横）cm	所蔵
（１）身近な生きもの						
1	今井真正	大熊猫	2023（令和５）年	陶器	H34.3×W26.0×D58.2	個人蔵
2	今井真正	寝転ぶ大熊猫	2023（令和５）年	陶器	H9.2×W25.6×D32.4	個人蔵
3	今井真正	寝転ぶ大熊猫	2023（令和５）年	陶器	H10.0×W25.8×D33.4	個人蔵
4	今井真正	光のどけき日－兄－	2023（令和５）年	陶器	H31.9×W13.6×D37.3	個人蔵
5	今井真正	光のどけき日－妹－	2023（令和５）年	陶器	H34.2×W14.2×D33.6	個人蔵
6	今井真正	豊象	2021（令和３）年	陶器	H31.5×W46.5×D19.5	個人蔵
7	今井真正	こぞう	2023（令和５）年	陶器	H22.5×W14.5×D36.0	個人蔵
8	今井真正	こかば	2023（令和５）年	陶器	H20.5×W18.0×D39.0	個人蔵
9	今井真正	「これなんだ？」	2019（令和元）年	陶器	H32.0×W41.0×D17.0	個人蔵
10	今井真正	「連れてって～」	2018（平成30）年	陶器	H28.5×W29.5×D16.0	個人蔵
11	今井真正	見上げる柴犬	2023（令和５）年	陶器	H35.7×W34.4×D15.7	個人蔵
12	今井真正	まっすぐ見つめる柴犬	2023（令和５）年	陶器	H35.5×W35.5×D14.0	個人蔵
13	今井真正	目標に忍び寄る	2023（令和５）年	陶器	H37.7×W12.4×D36.0	個人蔵
14	今井真正	角模様の犬	2023（令和５）年	陶器	H22.2×W41.0×D18.5	個人蔵
15	今井真正	三毛猫	2023（令和５）年	陶器	H36.5×W15.0×D29.5	個人蔵
16	今井真正	錦鯉	2022（令和４）年	陶器	H15.0×W23.0×D46.2	個人蔵
17	今井真正	龍門想	2023（令和５）年	陶器	H18.0×W24.4×D57.0	個人蔵
18	今井真正	日の丸を纏う	2023（令和５）年	陶器	H13.0×W14.7×D44.3	個人蔵
19	今井真正	金欄鯉	2022（令和４）年	陶器	H18.8×W50.5×D24.5	個人蔵
20	今井真正	蟹形花入	2013（平成25）年	陶器	H20.5×W24.5×D11.0	個人蔵
21	今井真正	闘う河豚	2011（平成23）年	陶器	H17.5×W16.0×D33.0	個人蔵
22	今井真正	友に伝えたい気持ち －湖猫（ミーアキャット）－	2023（令和５）年	陶器	H46.3×W22.5×D19.1	個人蔵
23	今井真正	頂に立つリス	2021（令和３）年	陶器	H42.0×W12.5×D16.0	個人蔵
24	今井真正	時間ですよ～	2015（平成27）年	陶器	H36.0×W13.5×D22.0	個人蔵
（２）創作の生きもの						
25	今井真正	富々拍子	2023（令和５）年	陶器	H25.0×W17.5×D45.0	個人蔵
26	今井真正	花模様の招き鼠	2019（令和元）年	陶器	H35.5×W18.0×D17.0	個人蔵
27	今井真正	飛翔	2016（平成28）年	陶器	H32.5×W29.5×D25.5	個人蔵
28	今井真正	卵を抱いた河童	2015（平成27）年	陶器	H39.0×W23.0×D20.5	個人蔵
29	今井真正	もりあおがえる	2023（令和５）年	陶器	H7.5×W15.0×D15.5	個人蔵
30	今井真正	うしがえる	2023（令和５）年	陶器	H7.5×W21.0×D18.0	個人蔵
（３）身近な生きもの2						
31	今井真正	洋花文亀	2022（令和４）年	陶器	H10.2×W24.5×D15.8	個人蔵
32	今井真正	赤絵華文亀	2020（令和２）年	陶器	H8.5×W21.5×D12.6	個人蔵
33	今井真正	角文亀	2023（令和５）年	陶器	H12.2×W13.6×D21.9	個人蔵
34	今井真正	筍文亀	2022（令和４）年	陶器	H7.0×W18.5×D12.0	個人蔵
35	今井真正	水面より見上げる空	2018（平成30）年	陶器	H30.5×W24.0×D37.0	個人蔵
36	今井真正	月懂	2018（平成30）年	陶器	H21.5×W21.0×D14.0	個人蔵
37	今井真正	しろうさぎ	2018（平成30）年	陶器	H13.0×W12.5×D25.5	個人蔵
38	今井真正	蒼華文亀	2022（令和４）年	陶器	H10.3×W27.5×D17.0	個人蔵
39	今井真正	唐草文亀	2022（令和４）年	陶器	H9.6×W26.1×D16.2	個人蔵
40	今井真正	黄交跡亀	2023（令和５）年	陶器	H9.0×W14.4×D19.3	個人蔵
41	今井真正	くろウサギ	2016（平成28）年	陶器	H13.0×W12.5×D24.0	個人蔵
42	今井真正	はりねずみ	2023（令和５）年	陶器	H18.5×W13.5×D21.5	個人蔵
43	今井真正	はりねずみ	2023（令和５）年	陶器	H14.5×W11.0×D11.0	個人蔵
（４）神聖な生きものたち						
44	今井真正	霊獣－青龍－	2018（平成30）年	陶器	H34.5×W68.0×D33.0	個人蔵
45	今井真正	朱雀香爐	2021（令和３）年	陶器	H45.0×W103.0×D25.0	
46	今井真正	霊獣－白虎－	2018（平成30）年	陶器	H32.5×W74.0×D33.0	個人蔵

47	今井眞正	霊獣－玄武－	2018（平成 30）年	陶器	H24.0×W49.5×D35.5	個人蔵
48	今井眞正	しろぎつね－阿－	2023（令和 5）年	陶器	H45.2×W38.5×D18.5	個人蔵
49	今井眞正	しろぎつね－吽－	2023（令和 5）年	陶器	H45.5×W39.5×D19.5	個人蔵
50	今井眞正	唐獅子－阿－	2021（令和 3）年	陶器	H35.0×W29.0×D18.5	個人蔵
51	今井眞正	唐獅子－吽－	2021（令和 3）年	陶器	H34.5×W29.0×D18.0	個人蔵
52	今井眞正	静視する若鹿	2015（平成 27）年	陶器	H52.5×W79.0×D25.5	個人蔵
53	今井眞正	夢見る子鹿	2013（平成 25）年	陶器	H34.0×W16.5×D47.0	個人蔵
54	今井眞正	八咫鳥	2017（平成 29）年	陶器	H42.5×W11.8×D46.0	個人蔵
55	今井眞正	八咫鳥	2023（令和 5）年	陶器	H46.0×W29.5×D43.5	個人蔵
56	今井眞正	三本足の鴉	2012（平成 24）年	陶器	H33.0×W16.5×D29.5	個人蔵
57	今井眞正	鷹	2023（令和 5）年	陶器	H59.0×W18.5×D38.0	個人蔵
58	今井眞正	ふくろう	2015（平成 27）年	陶器	H29.9×W20.0×D11.8	個人蔵
59	今井眞正	旅立つとき－若鶴－	2021（令和 3）年	陶器	H51.0×W36.5×D58.0	個人蔵
60	今井眞正	雲文亀	2022（令和 4）年	陶器	H9.5×W18.8×D12.0	個人蔵
61	今井眞正	金彩赤花亀	2023（令和 5）年	陶器	H9.3×W25.1×D17.8	個人蔵
62	今井眞正	あび	2023（令和 5）年	陶器	H20.0×W13.0×D35.0	個人蔵

（5）父・今井政之

63	今井政之	象嵌彩窯変 海老 花瓶	2023（令和 5）年		H23.5×W14.0×D14.0	個人蔵
----	------	-------------	-------------	--	-------------------	-----

（6）今井家三代

64	第 57 回 京の冬の旅 キャンペーンポスター 今井政之バージョン	京都デスティネーション	2023（令和 5）年	紙・プリント	36.4×51.5	
65	同上 今井眞正バージョン		2023（令和 5）年	紙・プリント	72.8×103.0	
66	同上 今井家三代バージョン		2023（令和 5）年	紙・プリント	36.4×51.0	
67	「広島県竹原市 豊山窯」 （制作：たけはらケーブルネット） 広島県竹原市にある豊山窯で作品を焼く今井家三代	豊山窯	2019（令和元）年	映像	約 30 分	たけはらケーブルネットワーク

（7）今井眞正のパブリックアート

68	今井眞正	《生－土・火・知・空・水－》の模型	1997（平成 9）年頃	石膏	左：H87.0×W31.5×D27.0 右：H84.0×W30.0×D27.5"	
69	《生－土・火・知・空・水－》の制作過程			パネル	72.8×103.0	
70	今井眞正の手がけたパブリックアートと MAP			パネル	72.8×103.0	
69	今井眞正	アハルテケ	2008（平成 20）年	ブロンズ	H108.0×W33.0×D113.0	個人蔵

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度 年報

令和 5 年度

蘭島閣美術館 所蔵品公開事業

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

蘭島閣美術館 所蔵品展Ⅰ 描かれないきものたち

2023（令和5）年7月15日〔土〕—8月28日〔月〕

出品点数

57点

印刷物

- チラシA4判（両面刷り）6,000部
- 出品目録A4判（両面刷り）



蘭島閣美術館 所蔵品展Ⅱ 日本画の巨匠たち～日本美術院の作家を中心に

2023（令和5）年11月3日〔金・祝〕—2024（令和6）年1月8日〔月・祝〕

出品点数

59点

関連行事

- ワークショップ「消しゴムで辰のはんこをつくろう」
- 2023（令和5）年11月25日（土）、12月2日（土）、12月3日（日）
- 午前10時から午後4時

印刷物

- チラシA4判（両面刷り）4,500部
- 出品目録A4判（両面刷り）



蘭島閣美術館 所蔵品展Ⅲ 郷土ゆかりの作家たち

2024（令和6）年1月10日〔水〕—3月4日〔月〕

出品点数

50 点

印刷物

- チラシ A4 判（両面刷り）5,000 部
- 出品目録 A4 判（両面刷り）



蘭島閣美術館 所蔵品展Ⅳ 四季を彩る花々と風景

2024（令和6）年3月6日〔水〕—4月22日〔月〕

出品点数

51 点

印刷物

- チラシ A4 判（両面刷り）5,500 部
- 出品目録 A4 判（両面刷り）



公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度 年報

令和 5 年度

蘭島閣美術館別館 所蔵品公開事業

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

蘭島閣美術館別館 所蔵品展Ⅰ 所蔵品への視点シリーズ・7 顔とトルソー

2023（令和5）年6月7日〔水〕—7月31日〔月〕

出品点数

38 点

印刷物

- チラシ A4 判（両面刷り）3,000 部
- 出品目録 A4 判（片面刷り）



蘭島閣美術館別館 所蔵品展Ⅱ 寺内萬治郎の油彩画

2023（令和5）年8月2日〔水〕—11月13日〔月〕

出品点数

28 点

印刷物

- チラシ A4 判（両面刷り）3,000 部
- 出品目録 A4 判（片面刷り）



蘭島閣美術館別館 所蔵品展Ⅲ 寺内萬治郎小品集一裸婦に捧げた生涯

2023（令和5）年11月15日〔水〕－2024（令和6）年1月15日〔月〕

出品点数

37 点

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り）3,000 部
- 出品目録 A4判（片面刷り）



蘭島閣美術館別館 企画展 ーありがとう日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区ー Technoscape Kure 鉄の記憶 製鉄所のある風景

2024（令和6）年1月17日〔水〕－3月25日〔月〕

出品点数

23 点

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り）3,000 部
- 出品目録 A4判（片面刷り）



公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度 年報

令和 5 年度

三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品公開事業

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品展Ⅰ 須田国太郎一芸術家の眼一

2023（令和5）年4月19日〔水〕—6月12日〔月〕

出品点数

35 点

関連行事

- ワークショップ「フェルトでバラのコサージュを作ろう!」
2023（令和5）年4月29日（土）
午前10時から午後3時まで（予約制）
三之瀬御本陣芸術文化館エントランス

印刷物

- チラシA4判（両面刷り）6,500部
- 出品目録A4判（片面刷り）



三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品展Ⅱ マチエールってなぁ〜に一近現代洋画から一

2023（令和5）年6月14日〔水〕—8月21日〔月〕

出品点数

33 点

印刷物

- チラシA4判（両面刷り）6,500部
- 出品目録A4判（片面刷り）



三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品展Ⅲ 小林和作と須田国太郎

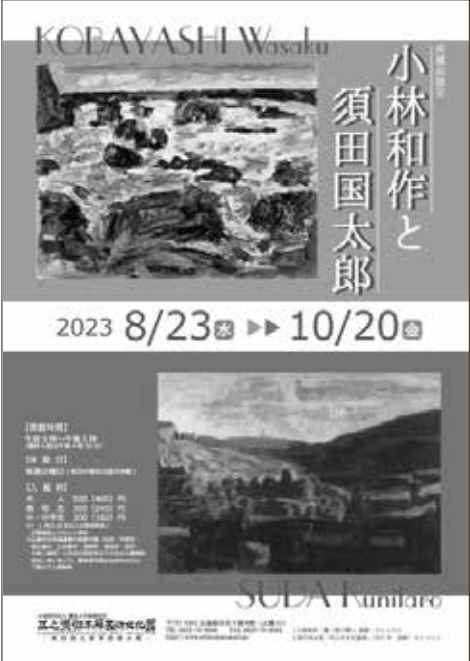
2023（令和5）年8月23日〔水〕—10月20日〔金〕

出品点数

42 点

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り）6,500 部
- 出品目録 A4判（片面刷り）



三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品展Ⅳ 池田栄廣・琳子 二人展

2023（令和5）年12月22日〔金〕—2024（令和6）年2月19日〔月〕

出品点数

27 点

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り）6,500 部
- 出品目録 A4判（片面刷り）



三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品展Ⅴ 生誕 100 周年 岡崎勇次

2024（令和 6）年 2 月 21 日〔水〕—4 月 22 日〔月〕

出品点数

63 点

関連行事

●ワークショップ「①マブリングでコースターをつくろう」
2024（令和 6）年 2 月 23 日（金・祝）
午前 10 時から午後 3 時まで
三之瀬御本陣芸術文化館研修室

●ワークショップ「②岡崎勇次のスケッチブック閲覧会」
2024（令和 6）年 3 月 20 日（水・祝）
午後 1 時 30 分から
三之瀬御本陣芸術文化館 1 階展示室

印刷物

- チラシ A4 判（両面刷り）6,500 部
- 出品目録 A4 判（両面刷り）



公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度 年報

令和 5 年度

松濤園 陶磁器館 所藏品公開事業

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

松涛園 陶磁器館 所蔵品展Ⅰ ニッポンのやきもの

2023（令和5）年4月12日〔水〕—6月26日〔月〕

出品点数

56 点

印刷物

- ポスター B2判 10 枚
- チラシ A4判（両面刷り）10,000 部
- 出品目録 A4判（片面刷り）



松涛園 陶磁器館 所蔵品展Ⅱ 古伊万里のつくりかた

2023（令和5）年6月28日〔水〕—9月4日〔月〕

出品点数

61 点

印刷物

- ポスター B2判 10 枚
- チラシ A4判（両面刷り）10,000 部
- 出品目録 A4判（片面刷り）



松涛国 陶磁器館 所蔵品展Ⅲ 継承 古久谷と鍋島

2023 (令和5) 年9月6日 [水] —11月27日 [月]

出品点数

66 点

印刷物

- ポスター B2判 10 枚
- チラシ A4判 (両面刷り) 10,000 部
- 出品目録 A4判 (片面刷り)



松涛国 陶磁器館 所蔵品展Ⅳ 陶磁器、草花の彩り

2023 (令和5) 年11月29日 [水] —2024 (令和6) 年1月29日 [月]

出品点数

71 点

印刷物

- ポスター B2判 10 枚
- チラシ A4判 (両面刷り) 10,000 部
- 出品目録 A4判 (片面刷り)



松涛国 陶磁器館 所蔵品展Ⅴ 時代と伊万里焼

2024（令和6）年1月31日〔水〕—4月8日〔月〕

出品点数

68 点

印刷物

- ポスター B2判 10 枚
- チラシ A4判（両面刷り）10,000 部
- 出品目録 A4判（片面刷り）



公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度 年報

令和 5 年度

松濤園 御馳走一番館 所蔵品公開事業

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

松涛園 御馳走一番館 所蔵品展Ⅰ 朝鮮通信使行列と絵画

2023（令和5）年4月12日〔水〕—6月26日〔月〕

出品点数

49 点

印刷物

- ポスター B2判 10 枚
- チラシ A4判（両面刷り）10,000 部
- 出品目録 B4判（片面刷り）



松涛園 御馳走一番館 所蔵品展Ⅱ 馬上才と朝鮮通信使

2023（令和5）年6月28日〔水〕—9月4日〔月〕

出品点数

34 点

印刷物

- ポスター B2判 10 枚
- チラシ A4判（両面刷り）10,000 部
- 出品目録 B4判（片面刷り）



松涛園 御馳走一番館 所蔵品展Ⅲ 朝鮮通信使と船の旅

2023（令和5）年9月6日〔水〕－11月27日〔月〕

出品点数

51 点

印刷物

- ポスター B2判 10 枚
- チラシ A4判（両面刷り）10,000 部
- 出品目録 B4判（片面刷り）



松涛園 御馳走一番館 所蔵品展Ⅳ 朝鮮通信使をもてなした料理

2023（令和5）年11月29日〔水〕－2024（令和6）年1月29日〔月〕

出品点数

34 点

印刷物

- ポスター B2判 10 枚
- チラシ A4判（両面刷り）10,000 部
- 出品目録 B4判（片面刷り）



松涛園 御馳走一番館 所蔵品展Ⅴ 唐子と朝鮮通信使

2024（令和6）年1月31日〔水〕—4月8日〔月〕

出品点数

39 点

印刷物

- ポスター B2判 10 枚
- チラシ A4判（両面刷り）10,000 部
- 出品目録 B4判（片面刷り）

唐子と
朝鮮通信使

御馳走一番館

松涛園

2024
1.31
▼
4.8
月

時代と
伊万里焼

松涛園 御馳走一番館

唐子と
朝鮮通信使

松涛園 御馳走一番館

時代と
伊万里焼

松涛園 御馳走一番館

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度
年報

令和 5 年度

通年展示 42-46p

通年展示

運営する施設のうち、地域の歴史や所蔵品に関連する貴重な資料については年間を通して展示公開している。その展示内容とおもな展示資料を下記にまとめた。

□三之瀬御本陣芸術文化館の通年展示ー須田国太郎思い出の部屋

須田国太郎愛用の品々を展示。油絵道具一式、イーゼルなどの油彩画の道具や、戸外制作に出かける際、須田が用いた固形水彩やパレットなどの愛用画材や関連資料を紹介している。また、スペインに留学していた時に使用したトランクや、戸外スケッチの時にいつもかぶっていた帽子などの身の回りの品を紹介。さらに、須田国太郎が好んで収集していた 715 点のグリコのおまけのおもちゃを展示している。



三之瀬御本陣芸術文化館 須田国太郎思い出の部屋・展示室内その他 2023（令和5）年度通年展示資料一覧 ＊無表記は財団所蔵

No.	資料名（須田国太郎遺品・愛用品資料）	時代・年代など	おもな材質	形状	寸法 （縦×横、その他）または（縦×横×奥行）cm	所蔵
須田国太郎遺品・愛用品資料のうち、写真資料以外の製造年代、形状は省略する。また、記載する寸法は本財団で計測したもの。写真は複製した際の寸法。						
1	江崎グリコ株式会社 グリコのおまけのおもちゃ（715点）	1945年代-1960年代	プラスチック他		—	
2	須田国太郎肖像写真（田中真知男撮影）	1954（昭和29）年	紙・プリント	パネル	54.0×43.0	
3	須田国太郎肖像写真 ＊第11回独立美術展会場で撮影されたもの（部分）	1941（昭和16）年	紙・プリント	パネル	43.0×54.0	
4	パレット（油絵用）絵具つき		プラスチック板		49.0×37.5	
5	二つ折り持ち運び用パレット（油絵用）		木製		36.0×25.0	
6	WINSOR & NEWTON 社製 油壺（蓋つき）		陶器		13.0×8.0	
7	WINSOR & NEWTON 社製 油壺（蓋なし）		陶器		12.5×8.5	
8	筆立（小）		陶器		13.5×10.0×10.0	
9	筆立（大）		木製		1.0×25.0	
10	筆類：18本 ＊鳥の羽3本、つけペン1本、鉛筆2本、筆12本		木製			
11	筆類：筆9本、つけペン1本、鉛筆4本、ナイフ1本		木製他		10.0～30.0	
12	絵具箱（油絵具7本）			紙箱	13.0×8.0	
13	絵具箱（油絵具・ランチ）		金属製箱		4.5×36.0×13.0	
14	油絵具一式		木箱		11.5×42.5×30.5	
15	絵具箱 ＊筆5本、絵具25本、油壺1本、油入1つ		木製		8.0×40.0×16.0	
16	書見台		木製		20.0×30.0×20.0	
17	WINSOR & NEWTON 社製 固形水彩付パレット（小）		金属製		1.5×21.0×13.0	
18	WINSOR & NEWTON 社製 固形水彩付パレット（大）		金属製		1.5×23.0×22.0	
19	東京大日本文具株式会社製 Pentel 水彩絵具セット 10本		紙箱			
20	トランク		革張り、金属		34.0×51.0×96.0	
21	革帽子		革		16.0×30.0×33.0	
22	イーゼル		木製		193.0×73.0×58.0	
23	須田国太郎撮影 波欧写真（複製） （ダロカ・スペイン）	1922（大正11）年	紙・プリント		30.0×39.0	
24	須田国太郎撮影 波欧写真（複製） ＊パレンシア / ドスアグアス侯爵邸（スペイン）	1922（大正11）年	紙・プリント		39.0×30.0	
25	須田国太郎撮影 波欧写真（複製） ＊パレンシアの河東（スペイン）	1922（大正11）年	紙・プリント		39.0×30.0	
26	須田国太郎撮影 波欧写真（複製） ＊サント・ドミンゴ（シグエンサ・スペイン）	1921（大正10）年 11月17日	紙・プリント		39.0×30.0	

□三之瀬御本陣芸術文化館の通年展示ーエントランス、ロビー、その他

三之瀬を含む下蒲刈の歴史・文化を写真パネルで年間を通して展示している。また、近世の貴人の様子を垣間見る目的として、嫁入り時に使用された姫駕籠を始め、甲冑や火縄銃などの武具などを紹介している。

(1) 下蒲刈の文化と歴史

1748（延享5）年来日の第10回朝鮮通信使一行の画員・李聖麟が、釜山から江戸までの路程を描いた槎路勝区図のうち、蒲刈を描いた図（複製）や当時の地図、福島雁木についてなど、歴史資料を展示。また、本陣の変遷を明治や昭和初期の三之瀬付近の写真で紹介している。

(2) 自然と歴史・文化にもとづくまちづくり～下蒲刈ガーデンアイランド構想の実現～

江戸時代に朝鮮通信使を迎えるに当たり詠まれた『蒲刈八景』をテーマに整備された下蒲刈島の公共デザインを紹介。その八景のうちの一つ、白崎園を展示パネルで紹介。白崎園に設置され島のシンボルとなった、陶芸家の今井眞正のモニュメント作品「生・土・火・知・空・水」や白崎園内に建つ頼山陽の詩碑を紹介している。

(3) 江戸時代の甲冑、近世の姫駕籠、火縄銃、薙刀

福島正則が幕命でこの地に本陣を設けて以降、三之瀬が重要な寄港地であった頃の様子を垣間見るため、江戸時代の甲冑を始め火縄銃、薙刀などの武具類を展示している。また彦根藩、井伊家への輿入れの際に使用されたとされる姫駕籠を紹介している。

三之瀬御本陣芸術文化館 エントランス、ロビー、その他 通年展示資料一覧 *無表記は財団所蔵

No.	資料名	時代・年代など	おもな材質	形状	寸法 （縦×横、その他）または（縦×横×奥行）cm	所蔵
-----	-----	---------	-------	----	---	----

(3) 江戸時代の甲冑、近世の姫駕籠、火縄銃、薙刀 （1）（2）の下蒲刈の紹介コーナーを除き、（3）の展示資料を記す。甲冑の材質、寸法は省略。火縄銃、火縄銃立の材質は省略。

1	鉄金箔押亀甲金鎖繫二枚胴具足	江戸時代中期				
2	姫駕籠	制作年不詳			119.0×127.0×79.0	
3	並河源以作 火縄銃	制作年不詳			全長 108.8 銃身長 75.8 口径 1.6	
4	火縄銃	制作年不詳			全長 115.4 銃身長 84.5 口径 1.4	
5	火縄銃立	制作年不詳	漆工		74.5×67.5×25.8	
6	吉信作 皿鉈	制作年不詳	漆工		鞘付全長 229.0 本体全長 221.5	
7	槍	制作年不詳	刀剣		鞘付全長 280.0 本体全長 276.0	



□松濤園の通年展示 あかりの館

山口県上関町から移築した旧吉田邸を活用し、世界の珍しい灯火器のコレクションを展示している。呉市有形文化財に指定されている旧吉田邸は移築前の姿を残し、江戸時代からの古い商家の造りを実際に体感しながら見ることができる。その中で、灯火器も含めた昔の暮らしの道具も紹介し、歴史を感じる展示をおこなっている。

(1) 日本のあかり

提灯や行灯など、かつて日本で実際に使われていた灯火器を、旧吉田邸の趣ある座敷を利用して展示している。提灯も行灯もそれぞれ、用途が違えば形が違うことを、並べて展示することで紹介している。また、多彩な和ろうそくも紹介している。

(2) 世界のあかり

世界有数の灯火器コレクターである高田一郎氏のコレクションを中心に、紀元前のテラコッタランプや、電気が普及するまで利用されていたオイルランプを紹介している。光を灯す道具がいかに発展してきたかを総覧できるよう紹介している。

(3) 旧吉田邸コレクション

移築の際に、建物とともに譲り受けた貴重な家具や資料を紹介。家具の中には、豪商ならではの帳場の設えなどを紹介している。吉田家に入り口のあった長州ゆかりの幕末志士の遺した資料などを一部紹介している。

松濤園 あかりの館 通年展示資料概要（＊各コーナーごとのおもな資料）

(1) 日本のあかり	おもな資料：置き行灯四角枕元行灯、置き行灯六角枕元行灯、置き行灯面取形枕元行灯、〈置き行灯〉名古屋行灯、〈置き行灯〉円周行灯、鉄製あこた形吊り灯籠、鉄製吊り灯籠、鉄製六角吊り灯籠、など
(2) 世界のあかり	おもな資料：テラコッタ、石ランプ、人面ペンダント油灯、鳥ランプ、カルダン時計ランプ、クリックライト（5灯式）、オイルランプ、シナンブラ冠ランプ、シナンブラランプ、キャンドルスタンド（祭壇用）、など
(3) 旧吉田邸コレクション	おもな資料：帳場家具一式、衣裳箆笥一式、長火鉢、ダイスけやき（大）、茶釜（大）、火鉢、吉田健造墓名、石臼、階段箆笥（箱階段）、など



□松濤園の通年展示－復元蒲刈島御番所

江戸時代に下蒲刈島に設置された番所を、現存している山口県上関町の番所を参考にして復元している。江戸時代に海駅に指定され、瀬戸内海の交通の要衝として重要な港であった下蒲刈島のことを紹介している。

(1) 高札場

幕府の統治上の基本的な法及び重要な施策が掲示された高札場を再現している。ここでは特に、朝鮮通信使来島にあたっての特別な対応を掲示し、朝鮮通信使来島がいかに幕府や藩にとって一大事であったかを紹介している。

(2) 弓・鉄砲・道具立て

弓や鉄砲の他に、突棒・ガリ棒（袖搦み）・サス棒（刺叉）の三つ道具と消火用水桶の備えを再現して展示している。番所は、海・港の安全を守るための現在の警察的役割のほかに、火事に備えた消防的役割も担っていたことを紹介している。



公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度
年報

令和 5 年度

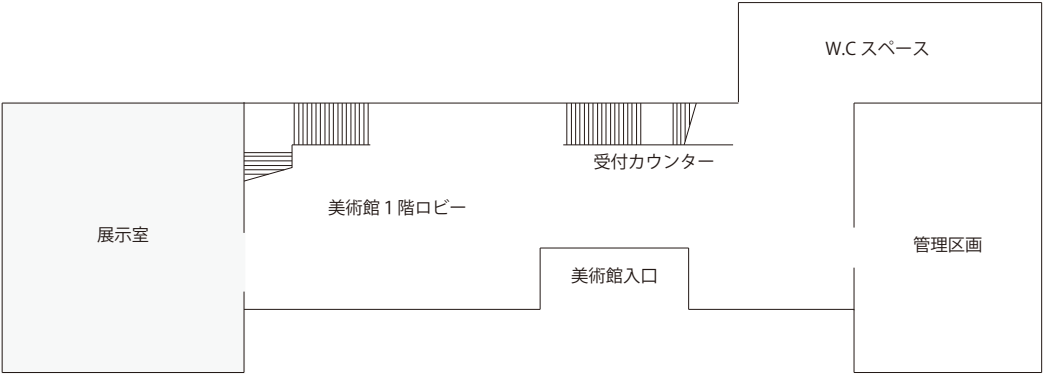
公開スペース一覧 48-54p

□蘭島閣美術館

	構造	敷地面積	建築面積	延べ床面積	施設概要
蘭島閣美術館	木造 2 階建 (一部 3 階、一部地下)	1,401.07 m ²	625.84 m ²	1,056.65 m ²	展示面積 541.04 m ² ／展示壁長 166.30 m



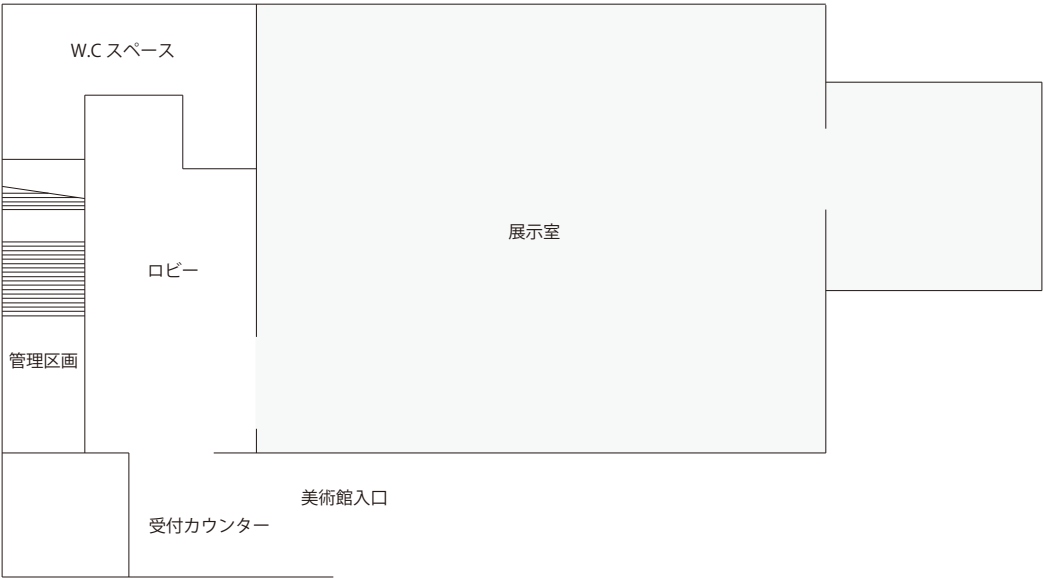
2 階



1 階

□蘭島閣美術館別館

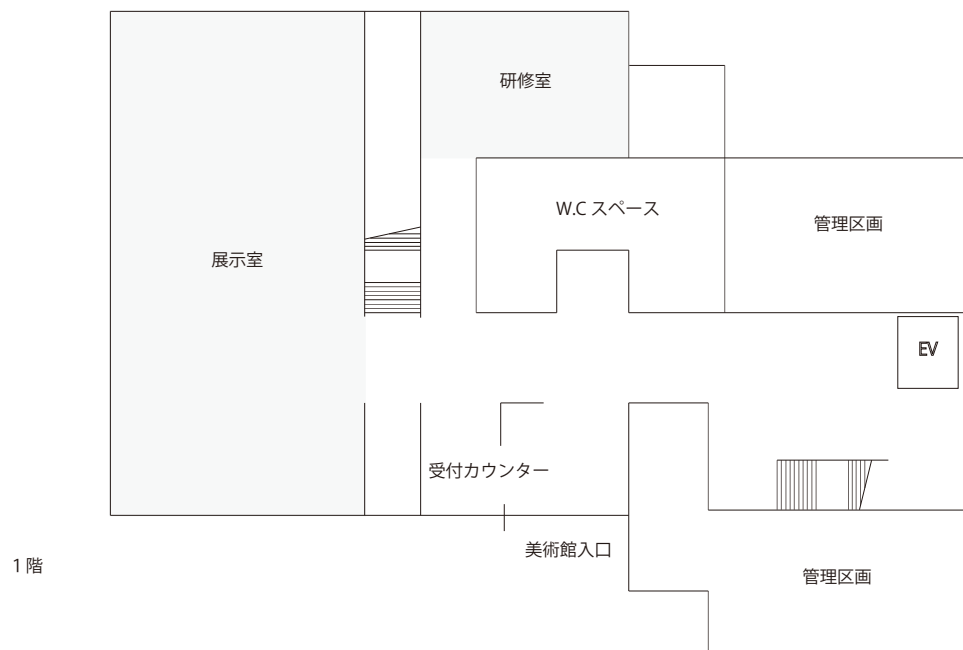
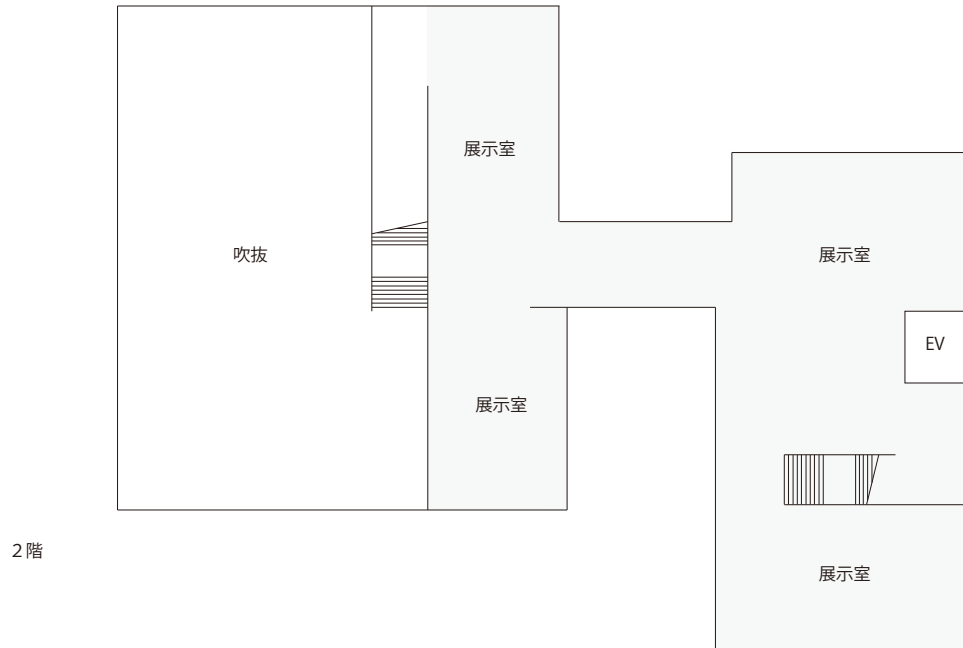
	構造	敷地面積	建築面積	延べ床面積	施設概要
蘭島閣美術館別館	木造瓦葺 1 階建	592.12 m ²	291.51 m ²	368.44 m ²	展示面積 148.22 m ² ／展示壁長 58.60 m



1 階

□三之瀬御本陣芸術文化館

	構造	敷地面積	建築面積	延べ床面積	施設概要
三之瀬御本陣芸術文化館	鉄筋 2 階建 (一部地下)	852.77 m ²	533.97 m ²	1,064.95 m ²	展示面積 401.80 m ² ／展示壁長 96.90 m

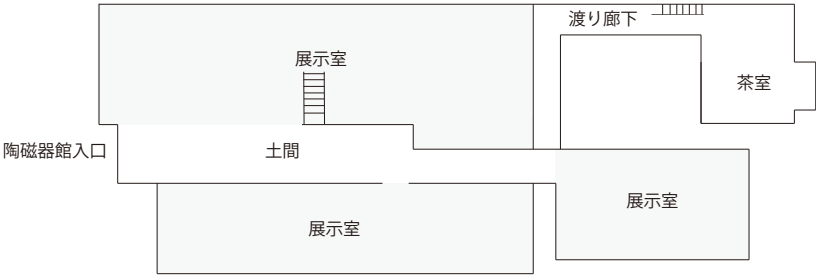


□松濤園 陶磁器館

	構造	敷地面積	建築面積	延べ床面積	施設概要
陶磁器館（旧木上邸）	木造瓦葺 2 階建 茶室茅葺 2 階建	4,376.35 m ² (松濤園全体)	153.28 m ²	233.04 m ²	—



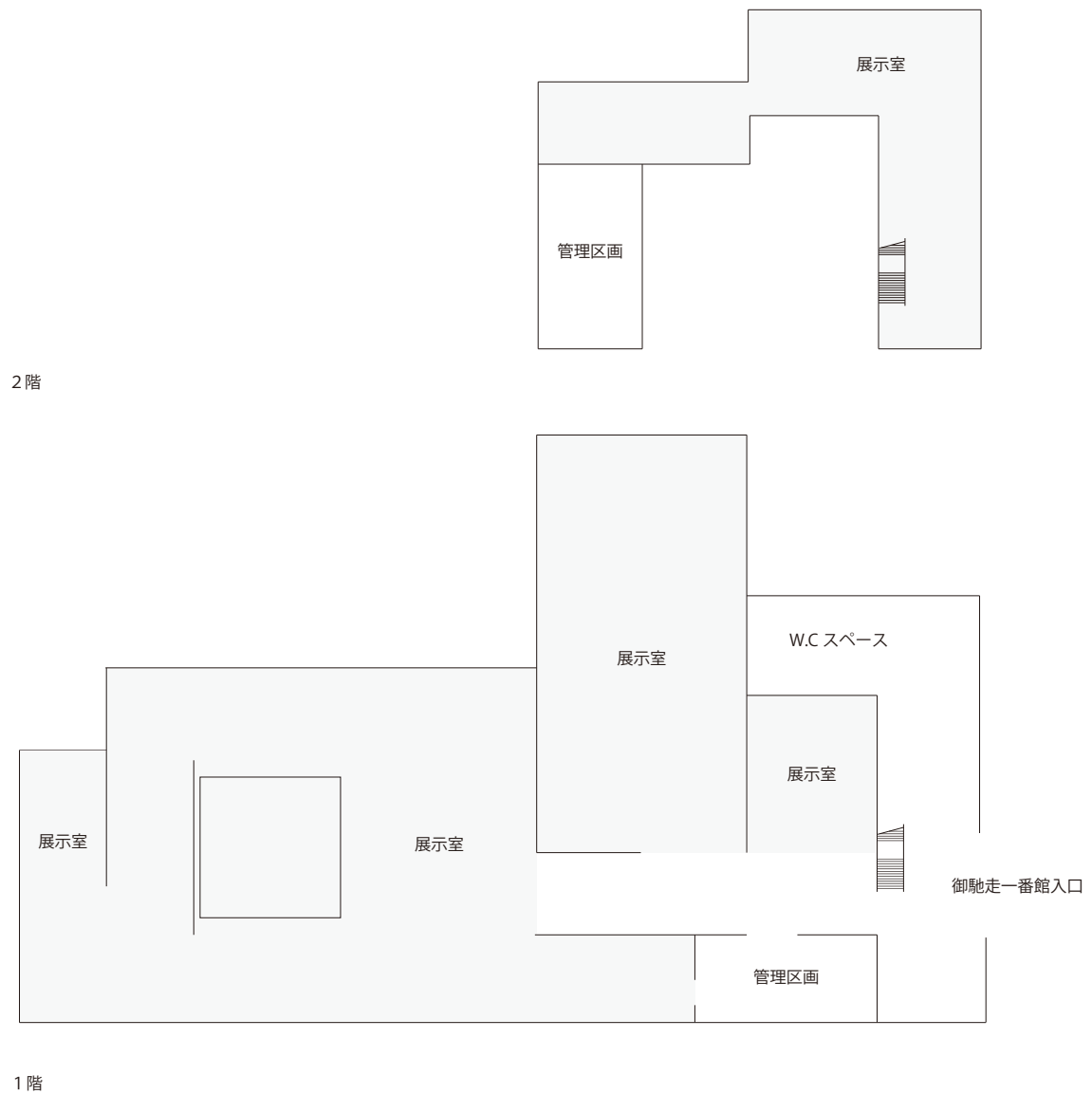
2 階



1 階

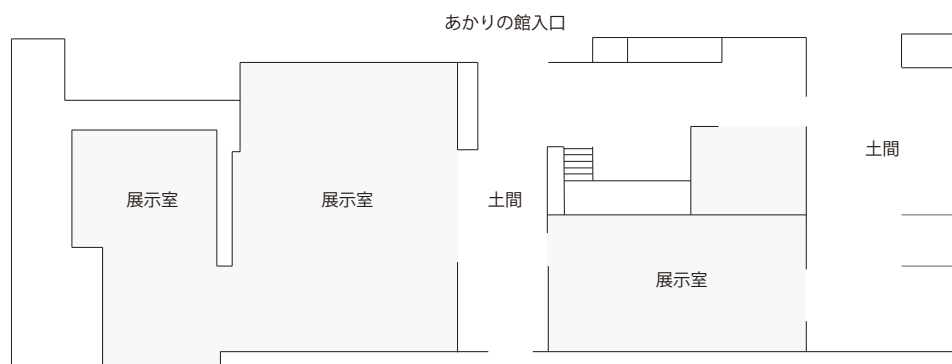
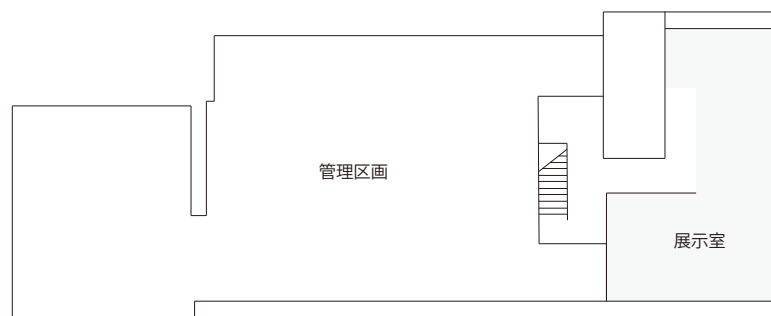
□松濤園 御馳走一番館（朝鮮通信使資料館）

	構造	敷地面積	建築面積	延べ床面積	施設概要
御馳走一番館（旧有川邸）	木造板葺及び瓦葺2階建	4,376.35 m ² (松濤園全体)	521.91 m ²	576.57 m ²	—



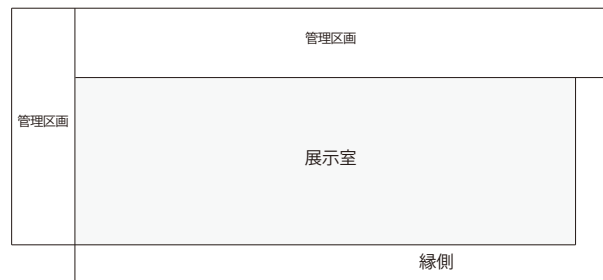
□松濤園 あかりの館

	構造	敷地面積	建築面積	延べ床面積	施設概要
あかりの館（旧吉田邸）	木造本瓦葺 2 階建	4,376.35 m ² (松濤園全体)	294.22 m ²	464.96 m ²	—



□松濤園 蒲刈島御番所

	構造	敷地面積	建築面積	延べ床面積	施設概要
蒲刈島御番所	木造平屋建	4,376.35 ㎡ (松濤園全体)	67.65 ㎡	67.65 ㎡	—



1 階

* 指定管理する施設のうち、白雪楼、昆虫の家「頑愚庵」、春蘭荘、松籟亭及び煎茶室は除く。

* 公開スペースの図は、展示区画の見取り図として作成。収蔵庫、空調設備などを含む管理区画は除く。

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度
年報

令和 5 年度

インターネットでの資料公開	・ 56-57p
資料貸出	・ ・ ・ ・ ・ 58p
画像提供	・ ・ ・ ・ ・ 59p
資料閲覧	・ ・ ・ ・ ・ 60p

インターネットでの資料公開

□インターネットでの資料公開
2023（令和 5）年度の展示公開事業にあわせて展覧会情報を掲載し、主要資料をホームページで公開した。（更新順）

展覧会名	作者	資料名	掲載期間
三之瀬御本陣芸術文化館所蔵品展Ⅰ 須田国太郎ー芸術家の眼ー	須田国太郎	紅薔薇	2023.4.1 ～ 6.13
		絵付け皿「巻貝」陶器	
	-	須田が収集したグリコのおもちゃ 1953-57 年 「レコードプレーヤー」「カップ」	
松清園陶磁器館所蔵品展Ⅰ ニッポンのやきもの	-	染付山水文大皿	2023.4.10 ～ 6.27
	-	色絵花盆文大皿	
	-	雑置物	
	-	古備前 壺	
松清園御馳走一番館所蔵品展Ⅰ 朝鮮通信使行列と絵図	-	朝鮮通信使歎待図屏風	2023.4.10 ～ 6.27
	-	清道朝鮮人大行列記大全	
蘭島閣美術館別館所蔵品展Ⅰ 所蔵品への視点シリーズ・7『顔とトルソー』	北野恒富	鷺娘	2023.6.7 ～ 8.1
三之瀬御本陣芸術文化館所蔵品展Ⅱ マチエールってなあ〜にー近現代洋画からー	絹谷幸二	薔薇	2023.6.14 ～ 8.20
	須田国太郎	月瀬平	
	鳥海青児	かぼちゃと茶碗	
	岡部繁夫	作品 T-D2	
	岡崎勇次	響・新緑	
松清園陶磁器館所蔵品展Ⅱ 古伊万里のつくりかた	-	色絵波鶴文水注	2023.6.28 ～ 9.5
	-	色絵葡萄栗鼠文角瓶	
	-	色絵獅子牡丹置物	
	-	色絵栄螺形三足鉢	
松清園御馳走一番館所蔵品展Ⅱ 馬上才と朝鮮通信使	-	馬上才図屏風（部分）	2023.6.28 ～ 9.5
	-	宝永華洛細見図 第十巻	
蘭島閣美術館所蔵品展Ⅰ 描かれないきものたち	橋本閑雪	ふくろう	2023.7.13 ～ 8.22
	山口華楊	虎	
		虎児	
蘭島閣美術館別館所蔵品展Ⅱ 寺内萬治郎の油彩画	寺内萬治郎	裸婦	2023.8.2 ～ 11.14
三之瀬御本陣芸術文化館所蔵品展Ⅲ 小林和作と須田国太郎	小林和作	海（室戸岬）	2023.8.21 ～ 10.20
		あじさい	
	須田国太郎	花山天文台遠望	
		尾道風景	
蘭島閣美術館特別展 村上海賊と蒲刈島	-	狸々陣羽織 (個人蔵・今治市村上海賊ミュージアム保管)	2023.8.23 ～ 10.31
松清園陶磁器館所蔵品展Ⅲ 継承 古九谷と鍋島	-	色絵椿文大皿	2023.9.6 ～ 11.27
	-	色絵芥子文皿	
	-	青磁染付大根文小皿	
	-	色絵南瓜文輪花皿	
松清園御馳走一番館所蔵品展Ⅲ 朝鮮通信使と船の旅	-	朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図	2023.9.6 ～ 11.27
	-	朝鮮通信使船大坂河口之図屏風	
三之瀬御本陣芸術文化館特別展 今井真正 土から生まれる命の輝き	今井真正	大熊猫	2023.10.21 ～ 12.21
		唐獅子ー阿ー、唐獅子ー吽ー	
		雲文亀、金彩赤花亀	
		連れてって〜、これなんだ？	
		友に伝えたい気持ち ー湖猫ー	
		頂に立つリス	
蘭島閣美術館所蔵品展Ⅱ 日本画の巨匠たち〜日本美術院の作家を中心に	横山大観	神洲乃正気	2023.11.1 ～ 2024.1.9
	下村観山	不動明王	
	川合玉堂	松山遠嶺	

蘭島閣美術館別館所蔵品展Ⅲ 寺内萬治郎小品集－裸婦に捧げた生涯	寺内萬治郎	裸婦	2023.11.15 ～ 2024.1.2
松清園陶磁器館所蔵品展Ⅳ 陶磁器、草花の彩り	-	色絵花卉文八角瓶	2023.11.28 ～ 2024.1.30
	-	色絵柴垣椿文皿	
	-	染付花卉文手付水注	
松清園御馳走一番館所蔵品展Ⅳ 朝鮮通信使をもてなした料理	-	朝鮮人御饗応献立	2023.11.28 ～ 2024.1.30
	-	祝言膳部次第（部分）	
三之瀬御本陣芸術文化館所蔵品展Ⅳ 池田栄廣・琳子 二人展	池田栄廣	犬	2023.12.22 ～ 2024.2.20
		手術室	
	池田琳子	オリヅルあそび	
		仲よし	
蘭島閣美術館別館企画展 Technoscape in Kure 鉄の記憶 製鉄所のある風景 －ありがとう日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区－	大形久典	蘇った大和	2024.1.2 ～ 3.26
		呉湾の夜明け	
		日新製鋼所 No. 3	
		日新製鋼所 No.2	
蘭島閣美術館所蔵品展Ⅲ 郷土ゆかりの作家たち	南薫造	瀬戸内風景	2024.1.10 ～ 3.5
		ミカンの木	
	新延輝雄	蜜柑の瀬戸	
	児玉希望	清爽	
	奥田元宋	風光る	
松清園陶磁器館所蔵品展Ⅴ 時代と伊万里焼	-	染付芙蓉手 VOC 欧字文大皿	2024.1.31 ～ 4.9
	-	色絵荒磯文皿	
	板谷波山	青磁下蕪花瓶	
松清園御馳走一番館所蔵品展Ⅴ 唐子と朝鮮通信使	-	唐子図屏風	2024.1.31 ～ 4.9
	-	唐子屏風	
三之瀬御本陣芸術文化館所蔵品展Ⅴ 生誕１００周年 岡崎勇次	-	雪に埋もれてスケッチする岡崎勇次	2024.2.21 ～ 4.29
	岡崎勇次	ギリシャ	
		幻煙	
		翔・北転船	
		北の港	
		アテネ・ビザンチン教会	
		日新製鋼	
蘭島閣美術館所蔵品展Ⅳ 四季を彩る花々と風景	中島千波	広 東洋パルプ	2024.3.6 ～ 4.29
		清風枝垂櫻	

資料貸出

□資料貸出
博物館・美術館、教育機関などからの申請に基づき、他館の展示公開事業に資料を貸出した。(敬称略)

	作者	資料名	会場	展覧会名	展覧会会期
1	福井良之助	初秋	一関市博物館	生誕 100 年 福井良之助展（前期）（後期）	2023.9.3～10.29
		裸婦			2023.11.1～11.26
2	浜崎左髪子	内海	公益財団法人泉美術館	特別展 浜崎左髪子展	2023.10.17～12.3
		ただの酒			
3	福田平八郎	雪庭	大阪中之島美術館 大分県立美術館	没後 50 年 福田平八郎	2024.3.9～5.6
		鯉（春水）			2024.5.18～7.15
		花の習作			
		春雨			

画像提供

□美術資料

(敬称略)

	利用者	目的	作者	資料名	許可日
1	一関市博物館	広報媒体、展覧会図録へ掲載のため	福井良之助	初秋	2023.7.10
				裸婦	
2	大阪中之島美術館 大分県立美術館	広報媒体、展覧会図録へ掲載のため	福田平八郎	雪庭	2023.6.12
				鯉（春水）	
				花の習作	
				春雨	
3	一宮市三岸節子記念美術館	書籍へ掲載のため	三岸節子	二つの太陽	2023.10.13
4	碧南市藤井達吉現代美術館	巡回展「須田国太郎の芸術 - 三つのまなざし -」展にかかる、広報媒体への使用のため	須田国太郎	モヘンテ	2023.8.25
5	小林俊介（国立大学法人山形大学 地域教育文化学部主担当）	美学会第74回全国大会における口頭発表 「須田国太郎の絵画技術について」で資料 提示するため。	須田国太郎	花山天文台遠望	2023.9.6
6	碧南市藤井達吉現代美術館 大分市美術館 西宮市大谷記念美術館 世田谷美術館	巡回展「須田国太郎の芸術 - 三つのまなざし -」展にかかる、広報媒体、図録への使用のため。	須田国太郎 須田国太郎 江崎グリコ	・《モヘンテ》油彩 ・《黄豹》油彩 ・《遺跡（サグント劇場跡）》油彩 ・《牛》油彩 ・《能（小原御幸）》デッサン9枚 ・《能画帳「尾崎正作翁三十三回忌追善能」1冊 ・滞欧写真33枚 ・遺品13点 ・グリコのおもちゃ（Suda collection）220点	2023.10.11
7	西宮市大谷記念美術館	巡回展「須田国太郎の芸術 - 三つのまなざし -」展で放映するため提供。	蘭島文化振興財団	「父との思い出 須田寛」映像データ	2024.3.8

資料閲覧

□資料閲覧
調査研究を目的とした博物館・美術館、教育機関などからの申請に基づき資料を閲覧に供した。(敬称略)

	調査者	目的	作者	資料名	閲覧日
1	岸文和 (公財) きょうと視覚文化振興財団理事) 中谷伸生 (公財) きょうと視覚文化振興財団 理事) 中尾薫 (大阪大学教授) 大野俊治 (碧南市藤井達吉現代美術館学芸員)	全国巡回「須田国太郎の芸術 - 三つのまなざし - 」展に係る、出品選定の作品調査。	須田国太郎	・《能〈小原御幸〉》 スケッチ全 42 点、 ・《能画帳 「尾崎正作翁三十三回忌追善能」》	2023.8.4
2	小林俊介 (国立大学法人山形大学 地域教育文化学部主担当)	美学会第 74 回全国大会における 口頭発表「須田国太郎の絵画技術 について」の資料とするため。	須田国太郎	須田国太郎の遺品 (パレット・絵具など画材)	2023.9.24

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度
年報

令和 5 年度

普及事業	・ ・ ・ ・ ・	62-66p
市民サービス	・ ・ ・ ・ ・	67-70p
財団事業	・ ・ ・ ・ ・	71-76p

ギャラリートーク・講演会・ワークショップ・関連イベント

市民の美術教養の向上と教育普及を目的とし、普及事業としてギャラリートーク、講演会を展示開催した。また、創作活動の推進を図るためワークショップを開催した。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染拡大の状況などを見て事業開催の可否を判断し、感染拡大防止の措置を講じて各種普及事業をおこなった。以下、開催した普及事業を記す。

■蘭島閣美術館

蘭島閣美術館 ギャラリートーク

●特別展「村上海賊と蒲刈島」関連イベント

[スペシャルギャラリートーク]

2023（令和5）年9月2日（土）午前10時20分から午前11時

講師：松花菜摘氏（今治市村上海賊ミュージアム学芸員）

開催日数：1日

参加者：70名

場所：蘭島閣美術館

（内容）

今治市村上海賊ミュージアムの松花学芸員を講師にむかえ、展示内容について詳しく解説いただいた。水軍から海賊へとミュージアム名を変更した理由から、村上海賊がどのような役目を果たしていたかを各展示室を回りながら説明いただいた。武家万代記についても蒲刈がでてくる部分を翻訳くださり、来館者にも親しみやすくするため、イラスト付きで解説を貸出いただいた。来館者からはとても分かりやすい展示だったと感想をいただいた。

蘭島閣美術館 ワークショップ・関連イベント

●ワークショップ [海色のフォトフレームをつくろう]

2023（令和5）年9月9日（土）、9月10日（日）

午前10時から午前12時、午後1時から午後3時

開催日数：2日

参加者：8名

場所：蘭島閣美術館

（内容）

ダンボールに貝殻やビーズなどいろいろな素材を張り付けてオリジナルのフォトフレームを作成するイベントとして開催した。親子での参加が多く、楽しい思い出作りができたと感じていただいた。

●試着体験 [陣羽織を着てみよう]

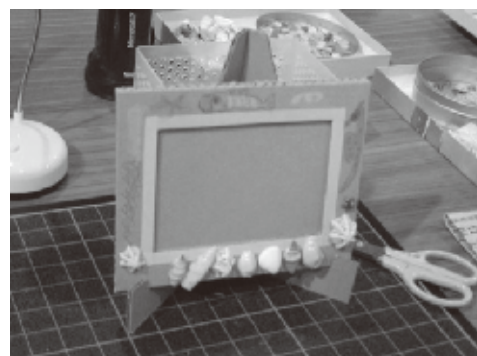
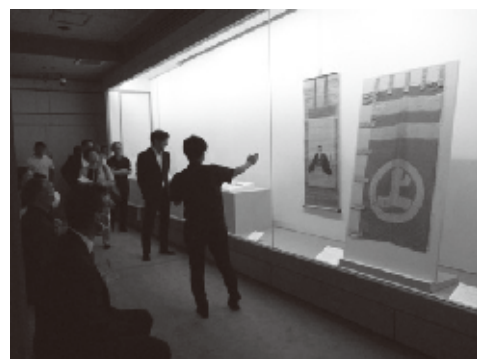
2023（令和5）年9月23日（土・祝）、9月24日（日）、10月7日（土）、10月8日（日）、10月9日（月・祝）

午前9時から午後4時30分

開催日数：5日

参加者：164名

場所：蘭島閣美術館



(内容)

今治市村上海賊ミュージアムから大人用と子ども用の陣羽織を貸出いただき、陣羽織を着て写真を撮影できるイベントとして企画した。陣羽織の他に刀や軍配を用意し雰囲気を感じていただいた。子どもから大人までたくさんの方の参加があり、各々好きなポーズをとって写真を撮っていた。久しぶりに家族みんなで写真をとることができ記念になったなど感想をいただいた。

●講演会「海の領主多賀谷氏と村上海賊」

2023（令和5）年9月30日（土）午後1時30分から午後3時

講師：山内譲氏（元松山大学教授）

開催日数：1日

参加者：51名

場所：蘭島閣美術館

(内容)

日本史研究者で中世瀬戸内海地域史を専門としておられる山内氏を講師に迎え、海の領主多賀谷氏と村上海賊について講演会を開催した。当初は定員を30名としていたが、参加希望者からの反響が大きく席を調整し定員数を増やした。講演会では、多賀谷氏の成り立ちから活動範囲など資料や写真を使用しながら詳しく説明いただいた。また、厳島神社神官の記録として知られる『房頭覚書』から多賀谷氏の荒々しい海の領主としての側面や、海で活動する者たちが作り上げた縁についても触れていただいた。参加者からは多賀谷氏についての狭い深いテーマでおもしろかった。呉市広の多賀谷（地名）、多賀氏、賀谷氏とのつながりも知りたいという感想もいただいた。

●ワークショップ「消しゴムで辰のはんこをつくろう」

2023（令和5）年11月25日（土）、12月2日（土）、12月3日（日）

午前10時から午後4時

開催日数：3日

参加者：5名

(内容)

消しゴムで来年の干支である「辰」をテーマに篆刻するワークショップを開催した。日本画の作品に欠かせない落款を、もっと身近に親しんでいただくことを目的とし、通常石に彫るものを消しゴムに代えて、絵手紙などのワンポイントとして気軽に利用できるはんこ作りを企画した。参加者からは、思ったより簡単にできて楽しかったなどの声が聞かれた。

■三之瀬御本陣芸術文化館

三之瀬御本陣芸術文化館 ギャラリートーク

●特別展「今井真正 土から生まれる命の輝き」

[開会式]

2023（令和5）年10月26日（木）

午前10時から

参加者：67名

場所：三之瀬御本陣芸術文化館エントランス



●特別展「今井眞正 土から生まれる命の輝き」

[今井眞正氏によるアーティストトーク]

2023（令和5）年10月26日（木）午前10時25分から

開催日数：1日

参加者：70名

場所：三之瀬御本陣芸術文化館展示室

（内容）

制作者の今井眞正氏に会場を巡りながら、作品の解説や制作の裏側、窯焼きについてなどをわかりやすくお話いただいた。また本年3月に他界された父・政之氏との思い出や心境も作品を前に語ってくださった。章ごとの説明で進んでいき、都度お客様からの質問にも丁寧に答えていただいた。「直接作家の先生のお話が聞けて良かったです」「一つ一つの作品がまるで生きているようでした」といった感想をいただいた。

●特別展「今井眞正 土から生まれる命の輝き」

[今井眞正氏によるアーティストトーク2]

2023（令和5）年12月1日（金）午前14時から15時10分

開催日数：1日

参加者：47名

場所：三之瀬御本陣芸術文化館展示室

（内容）

制作者の今井眞正氏による地元の蒲刈小学校全校生徒との対話型の鑑賞を行った。作品の話をはじめ、生徒たちが小さいときから見ていた公園のモニュメント《生・土・火・知・空・水・》について、コンセプトやさまざまな見え方を直接、制作者から聴くことのできる貴重な体験となった。彼らが大きくなった時に、下蒲刈島のシンボルの一つであるこのモニュメントについて、次世代へ伝える懸け橋となってくれることへの希求や陶器や芸術をもっと生活の中に身近に感じてほしいという制作者の思いもわかりやすく、楽しくお話いただいた。後日、この観賞会での感想文を今井氏と美術館に寄せていただき、互いにこれからの励みとなった。

三之瀬御本陣芸術文化館 ワークショップ・関連イベント

●特別展「今井眞正 土から生まれる命の輝き」

ワークショップ[土で生き物をつくってみよう！]

2023（令和5）年11月26日（日）午前10時から午後3時

開催日数：1日

参加者：18名

場所：下蒲刈市民センター2階

（内容）

眞正氏から直接教わりながら、土でそれぞれが作りたい生き物を形にした。子供からお年寄りまで幅広い世代に参加いただいた。後日、作品は今井氏によって窯で焼かれ、完成品を参加者にお渡しした。焼成するため、粘土での形成時に、中を空洞にしながら立体にしていく独特の作り方に皆さん苦戦していたが、龍やカメ、ゾウ、カブトムシなど個性豊かな作品が完成した。作品は、取りに来られるまで、当館で展示をおこなった。焼かれると、粘土で作った時とは異なる雰囲気になり、完成した作品に皆、感動されていた。



●所蔵品展Ⅰ「須田国太郎―芸術家の眼―」

ワークショップ「フェルトでバラのコサージュを作ろう！」

2023（令和5）年4月29日（土）午前10時から午後3時

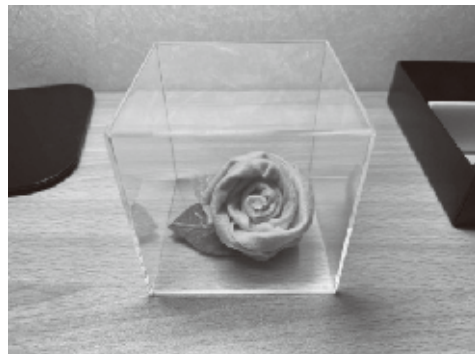
開催日数：1日

参加者：11名

場所：三之瀬御本陣芸術文化館エントランス

（内容）

須田が画題の一つとして好んだバラを、フェルトで作ってコサージュに仕上げるワークショップを開催。どなたでも安心して制作いただけるよう、針と糸を使用しない方法で制作した。また、参加者にはクリアケースをプレゼントし、身に付けるだけでなく、飾って楽しむこともできるようにした。「楽しかった」という感想をいただき、制作したコサージュを早速胸に付ける方もいた。



●所蔵品展Ⅱ「生誕100周年 岡崎勇次」

ワークショップ「マーブリングでコースターをつくろう」

2024（令和6）年2月23日（金・祝）午前10時から午後3時

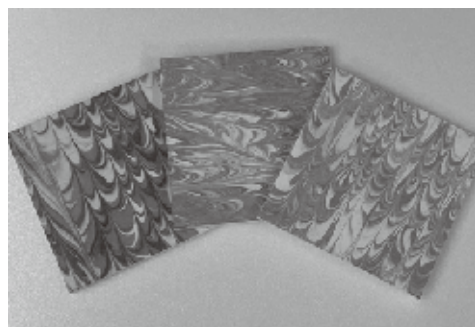
開催日数：1日

参加者：7名

場所：三之瀬御本陣芸術文化館 研修室

（内容）

海や水辺の風景を得意とした岡崎勇次にちなんで、水の動きでさまざまな模様を作り出すマーブリングをおこなった。ゴム樹脂の水溶液に絵具を垂らし、串などで動かすことで美しい模様を作り出した後、水面にゆっくり紙を置いて模様を写し取る技法である。出来上がる模様が大理石のようであるため、大理石を意味する marble から、マーブリングと呼ばれている。マーブル紙を乾燥させ後、のり付パネルに貼り、防水のためのコーティングシールで覆い、オリジナルのコースターに仕上げた。



●所蔵品展Ⅲ「生誕100周年 岡崎勇次」

関連イベント「岡崎勇次のスケッチブック閲覧会」

2024（令和6）年3月20日（水・祝）午後1時30分から午後2時30分

開催日数：1日

参加者：17名

場所：三之瀬御本陣芸術文化館 展示室

（内容）

展示では見るできない、岡崎勇次の残したスケッチブックをめくりながら中身を鑑賞する閲覧会を開催した。岡崎が主宰した画塾「グループいしがき」のメンバーと南米、インド、ヨーロッパなど各地を旅した時に描いた水彩画をはじめ、晩年に一人旅で挑んだ北の海でのスケッチやそこに綴られた日記など15冊程度を鑑賞いただいた。画家の遺族の方もご参加くださり、その時の思い出も聞くことができ、非常に貴重な機会を得た。「心打られました」などの感想をいただいた。



秋の茶会

2023（令和5）年11月11日〔土〕—11月12日〔日〕

茶道を体験し、また日本建築と庭園の調和を感じるにより、日本文化を生み出した文化的背景を知る機会として市民に提供している。

松濤園内の蒲刈島御番所を会場として活用し、お抹茶とお菓子を本格的な作法で振る舞い、茶道の経験にかかわらず広く市民サービスとして誰もが体験でき楽しめる内容としている。

（開催日時）2023（令和5）年11月11日（土）・12日（日） 2日間
・1日目が点前、2日目が点出。

（会場）松濤園 蒲刈島御番所

（協力）上田宗箇流

おもな関連記事など

季刊「和風」第162号 令和5年9月26日発行・公益財団法人上田流和風堂編集室（行事案内）
季刊「和風」第163号 令和5年12月22日発行・公益財団法人上田流和風堂編集室（茶会記の掲載）

印刷物

チラシ（A4判） 6,000部

ポスター（B2判） 10部

参加者

338名（11/11、11/12 合計）



春の茶会

2024（令和6）年3月9日〔土〕—3月10日〔日〕

茶道を体験し、また日本建築と庭園の調和を感じるにより、日本文化を生み出した文化的背景を知る機会として市民に提供している。

松濤園内の蒲刈島御番所を会場として活用し、お抹茶とお菓子を本格的な作法で振る舞い、茶道の経験にかかわらず広く市民サービスとして誰もが体験でき楽しめる内容としている。

（開催日時）2024（令和6）年3月9日（土）・10日（日） 2日間
・1日目が点前、2日目が点出。

（会場）松濤園 蒲刈島御番所
（協力）茶道裏千家 中野須賀子

おもな関連記事など

くれえばん 令和6年3月号（2月1日発行）
中国新聞 令和6年3月8日朝刊
広島テレビ「われら！呉 Tuber」（3月5日）

印刷物

チラシ（A4判） 6,500 部
ポスター（B2判） 100 部

参加者

385 名（3/9、3/10 合計）



島の美術館ピアノ

蘭島閣美術館別館に設置されているグランドピアノを活用し、来場者にピアノ演奏を楽しむ環境を提供した。歴史を刻む 1957（昭和 32）年製のスタインウェイ社のグランドピアノを開放し、作品鑑賞とともに誰でも気軽にピアノの音色を楽しみ、ゆとりのある時間を美術館で体験できるよう配慮した。

会期 2023（令和 5）年度期間中の土・日
午前 9 時から午後 4 時（演奏終了時間）
午前 9 時から 1 時間 1 枠で予約／利用

場所 蘭島閣美術館別館

参加者 108 名
参加費 無料（入館料のみ）

（目的）

下蒲刈島に寄贈されたグランドピアノを活用し、来館者に気軽に本格的なピアノに触れる機会を提供するもの。小規模な別館の特長を活かし、館内備品を有効に活用しながらお客様に美術館に親しんでもらうことを目指す。

（内容）

事前予約者を優先し、それ以外の時間は当日申し込みもできるようにした。ピアノ演奏希望者にはピアノ利用の注意点を説明後、1 人 1 時間の利用時間でピアノを提供した。

ふれあい昆虫教室

2023（令和5）年7月30日〔日〕

昆虫の観察を中心とした、親子で参加できる体験学習プログラムとして実施している。芸南島嶼地域の自然に触れ、身近な生物、昆虫の観察や採集を通し、自然とのかかわりや命の尊さを学び、豊かな感性と優しい心を育むことを目的に開催している。また、活動を通じた地域の世代間交流の促進を目指している。

日時 2023（令和5）年7月30日（日）
午前10時から午後2時まで
場所 下蒲刈島内（大津泊庭園）、昆虫の家
協力 神垣健司（さとやま自然史研究会代表）
住岡昭彦（ひろしま自然の会会員）
中田博臣

参加者 24名（大人14名、小学生10名）
参加費 500円

印刷物

●A4判チラシ（両面印刷）870部



公益財団法人 鶴島文化振興財団

令和5年度

ふれあい昆虫教室

ふれあい昆虫教室は、芸南島嶼地域の自然に触れ、身近な生物である昆虫を観察や採集を通して、人と自然との関わりや生命の尊さを学び、豊かな感性と優しい心を育む教室です。当教室の参加をお待ちしています。

日 時：令和5年7月30日（日）10:00～14:00
（雨天の場合は午前中まで終了）

集合場所：昆虫の家（県市下蒲刈町下島2354-3）
その後大津泊庭園で昆虫採集。昆虫の家で標本づくり
（雨天の場合は昆虫の家で観察と標本づくり）

参加費：小学生以上（小学生は保護者同伴での参加が必要です）
※参加・見学のみで参加費を減額します。
定 員：30名（参加する保護者を含む）
※申込多数の場合は、抽選となります。先着順ではありません。
持参物：虫かご・捕虫網・手巾・タオル・帽子・雨具・保護服（貸し）・マスク
※保護服は貸し出しですが、汚れても良いもの（サンダル等の裸足、くるぶしの露出するものは不可）
※参加費：1人500円（8割減、保護者同伴の場合は減額）
申込方法：7月31日（金）まで申込書の提出は、鶴島文化振興財団に送付してください。
問合せ：松浦 浩二（TEL:0923-45-2900）

ふれあい海岸教室

2023（令和5）年8月2日〔日〕

磯辺の観察を中心とした、親子で参加できる体験学習プログラムとして実施している。瀬戸内海の自然に触れ、海岸生物の観察や採集を通し、自然とのかかわりや命の尊さを学び、豊かな感性と優しい心を育むことを目的に開催している。また活動を通じた地域の世代間交流の促進を目指している。

日時 2023（令和5）年8月2日（水）
午後1時から午後4時
場所 姫ひじき塩の家、下蒲刈島内海岸（白崎海岸周辺）
協力 濱村陽一（日本貝類学会会員及びひろしま自然の会会員）
中田博臣
参加者 19名（大人11名、小学生8名）
参加費 500円

おもな関連記事、番組など

印刷物

●A4判チラシ（両面チラシ）870部



公益財団法人 鶴島文化振興財団

令和5年度

ふれあい海岸教室

ふれあい海岸教室は、海岸生物の観察や採集を通して、自然とのかかわりや生命の尊さを学び、豊かな感性と優しい心を育む教室です。当教室の参加をお待ちしています。

日 時：令和5年8月2日（水）13:30～16:00

集合場所：姫ひじき塩の家
姫ひじき塩作り、白崎海岸にて磯辺の観察
（雨天の場合は、姫ひじき塩作り、貝と海藻の観察）

参加費：小学生以上（小学生は保護者同伴での参加が必要です）
※参加・見学のみで参加費を減額します。
定 員：30名（参加する保護者を含む）
※申込多数の場合は、抽選となります。先着順ではありません。
持参物：虫かご・捕虫網・手巾・タオル・帽子・雨具・保護服（貸し）・マスク
※保護服は貸し出しですが、汚れても良いもの（サンダル等の裸足、くるぶしの露出するものは不可）
※参加費：1人500円（8割減、保護者同伴の場合は減額）
申込方法：7月31日（金）まで申込書の提出は、鶴島文化振興財団に送付してください。
問合せ：松浦 浩二（TEL:0923-45-2900）

昆虫イラスト展

2023（令和5）年12月13日〔水〕－2024（令和6）年2月18日〔日〕

平成10年7月4日に開館した昆虫の家では、開館にあたり、町内の小中学生らが採集した昆虫を、自分達で標本にして展示するなど、地元に愛されてきた。令和5年で25周年を迎えることを記念し、市内を中心に子どもたちからイラストを募集し展示した。「昆虫」という身近なテーマを通じて、自然生物への理解を深めるとともに、表現と鑑賞の場を設けることで、芸術・文化への関心を高める機会となる企画を目指した。

募集 2023（令和5）年11月上旬～12月4日（月）
展示 2023（令和5）年12月13日（水）～2024（令和6）年2月18日（日）

会場 昆虫の家

参加者 応募：295 枚 / 入館者：398 名

おもな関連記事、番組など

- 「昆虫イラストカラフルに」中国新聞、2023（令和5）年12月28日
- 「われら！呉Tuber」広島テレビ、2024（令和6）年1月6日

印刷物

- ポスター B2判 6部
- チラシ（応募用紙）A4判（両面刷り） 5,000 部



ギャラリーコンサート

蘭島閣美術館の1階ロビーを利用し、美術と音楽の調和によってもたらされる芸術の楽しさと奥深さを享受してもらうために、クラシックを中心とするコンサートを開催した。2001（平成13）年1月から毎月第3土曜日に実施しているもので、2023（令和5）年6月で270回を数えた。誰でも気軽に参加できるように入場料を抑え、かつ子どもたちの来場を促すために高校生以下は無料としている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7月までは事前申込制で開催していたが、8月からは、全席自由席で、当日券の販売とコンサートの会の入会申込みを再開し、本来の運営方法で開催した。また関連イベントでは、音楽関係者による講演会やワークショップは中止とし、地元の学校でのミニコンサートを実施した。

＊詳しくは別表「2023（令和5）年度ギャラリーコンサート一覧」の通り

会場 蘭島閣美術館 1階ロビー

実施日 毎月1回（年間12回）

実施時間 午後6時30分から午後8時10分

入場料 1,500円（大人1名1回分／高校生以下は無料）

※2023（令和5）年8月の公演より入場料を1,700円に変更

主催 呉市／公益財団法人蘭島文化振興財団

関連行事

＊詳しくは別表「2023（令和5）年度ギャラリーコンサート関連行事」の通り

●ミニコンサート

ギャラリーコンサート出演者の協力を得て、蒲刈中学校に出向いての「ミニコンサート」を実施し、子どもたちに対して音楽に親しむ機会を提供した。

会場 蒲刈中学校体育館

実施日時 9月15日（金）午後2時45分から午後3時15分

入場料 無料

出演 大谷康子（ヴァイオリン） 小山さゆり（ピアノ）

参加者 100名（蒲刈中学校、蒲刈小学校の生徒、教職員、保護者 ほか）

●コンサート講演会【中止】

音楽への理解を深めてもらうことを目的に、ギャラリーコンサート開演前の時間を利用して、クラシックに関する講演会を開催予定だったが、中止となった。

●ミュージック＆アーツ【中止】

ギャラリーコンサート出演者の協力を得て、子どもたちを対象に、音楽を聴いて絵画を描くイベントを開催予定だったが、中止となった。



□2023（令和5）年度ギャラリーコンサート一覧

開催月	公演名	出演者	開催日時	入場者数
4月	第268回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート	店村真積（ヴィオラ） 練木繁夫（ピアノ）	2023（令和5）年4月15日（土） 午後6時30分から午後8時10分	85人
5月	第269回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート	G7サミットの影響のため5月は中止		—
6月	第270回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート	小森邦彦（マリンバ） 稲垣佑馬（マリンバ）	2023（令和5）年6月17日（土） 午後6時30分から午後8時10分	78人
7月	第271回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート	上野耕平（サクソフォン） 高橋優介（ピアノ）	2023（令和5）年7月15日（土） 午後6時30分から午後8時10分	98人
8月	第272回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート	茂山千之丞（狂言・舞） 山村有佳里（ピアノ）	2023（令和5）年8月19日（土） 午後6時30分から午後8時10分	83人
9月	第273回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート	大谷康子（ヴァイオリン） 小山さゆり（ピアノ）	2023（令和5）年9月16日（土） 午後6時30分から午後8時10分	143人
10月	第274回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート	遠藤真理（チェロ） 三船優子（ピアノ）	2023（令和5）年10月21日（土） 午後6時30分から午後8時10分	102人
11月	第275回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート	石岡久乃（ピアノ） 安宅薫（ピアノ）	2023（令和5）年11月18日（土） 午後6時30分から午後8時10分	85人
12月	第276回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート	小山実稚恵（ピアノ）	2023（令和5）年12月16日（土） 午後6時30分から午後8時10分	161人
1月	第277回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート	正戸里佳（ヴァイオリン） 岡田将（ピアノ）	2024（令和6）年1月20日（土） 午後6時30分から午後8時10分	101人
2月	第278回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート	堀米ゆず子（ヴァイオリン） 占部由美子（ピアノ）	2024（令和6）年2月17日（土） 午後6時30分から午後8時10分	140人
3月	第279回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート	吉田悠人（クラリネット） 野山真希（ピアノ）	2024（令和6）年3月16日（土） 午後6時30分から午後8時10分	109人

□2023（令和5）年度ギャラリーコンサート関連行事 ミニコンサート（会場：呉市立蒲刈中学校体育館）

開催月	公演名	出演者	開催日時	入場者数
9月	子どもたちのためのミニコンサート	大谷康子（ヴァイオリン） 小山さゆり（ピアノ）	2023（令和5）年9月15日（金） 午後2時45分から午後3時15分	100人

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度
年報

令和 5 年度

収集・保存・整理	78p
協力・広報	79p
入館者数	80p
関係法規	81-84p

収集・保存・整理

□新収蔵資料

所蔵品に関連する資料で、寄贈、寄託の申請があった場合は、調査に基づき必要と認められた場合に収集をおこなっている。2023（令和5）年度は収集なし。

□保存・修復・修繕

2022（令和4）年8月1日から2023（令和5）年3月31日まで、須田国太郎作《遺跡（サグントローマ劇場跡）》100号の平面回復、補彩の修復を、きょうと視覚文化振興財団と共同研究で実施し、2023（令和5）年度に報告書を作成した。修復は、K.S.美術修復工房（楠本涼華）がおこなった。

□燻蒸

2023（令和5）年7月25日、蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館、松濤園、昆虫の家を対象に燻蒸作業をおこなった。

□整理

資料情報の統合、再整理を視野に調査を継続している。

□2023（令和5）年度までの収蔵資料（分類別）＊寄託をのぞく。

美術系資料

分類	油彩画	日本画	素描	水彩	版画	彫塑	漆工	金工	鋳造	ガラス	書	その他
点数	450	423	810	174	118	10	39	7	10	31	38	5

陶磁器、朝鮮通信使関連資料、その他の歴史系資料

分類	陶磁器	東洋画	木工	漆工	金工	鋳造	石彫	洋ランプ	和ランプ	その他
点数	1,029	423	75	6	2	27	14	270	163	29

協力・広報

□ 対外協力

	内容	協力先	日付
取材協力	松涛園・三之瀬御本陣芸術文化館の紹介	株式会社 K G 情報 『SETOUCHI MINKA 2024 Living with GARDEN 瀬戸内の家と庭。』 2023（令和 5）年 10 月 18 日発行	2023.7.13
取材協力	松涛園・蘭島閣美術館の紹介	株式会社 JTB パブリッシング 『るるぶドライブ中国四国ベストコース' 25』 2023（令和 5 年）年 12 月 11 日発売	2023.9.1
取材協力	白雪楼・松涛園の紹介	株式会社 JTB パブリッシング 『るるぶ特別編集 広島絶景ドライブ』 2023（令和 5 年）年 12 月発行	2023.9.25
取材協力	松涛園・蘭島閣美術館の紹介	株式会社 JTB パブリッシング 『るるぶ広島宮島尾道しまなみ海道呉' 25』 2024（令和 6）年 2 月 7 日発売	2023.10.25
取材協力	松涛園の紹介	昭文社 『まっふるドライブ関西中国四国ベスト』 2024（令和 6）年 2 月 15 日発行	2023.11.13
取材協力	松涛園の紹介	昭文社 『まっふる 広島・宮島 尾道・呉・しまなみ海道' 25』 2024（令和 6）年 3 月 13 日発売	2023.11.26
取材協力	松涛園・蘭島閣美術館の紹介	株式会社 JTB パブリッシング 『るるぶせとうち 島旅 しまなみ海道』 2024（令和 6）年 3 月 7 日発売	2024.1.27

入館者数

□2023（令和5）年度 施設別入館（利用）者数

施設名	年間入館者数
蘭島閣美術館	7,416
蘭島閣美術館別館	1,110
三之瀬御本陣芸術文化館	4,839
松濤園（陶磁器館、御馳走一番館〈朝鮮通信使資料館〉、あかりの館、蒲刈島御番所）	12,936
白雪楼	2,818
昆虫の家〈頑愚庵〉	1,229
春蘭荘	84
松籟亭、煎茶室	168
合計	30,600

＊入館（利用）者数は、指定管理する施設すべての施設分を記載している。

関係法規

蘭島文化振興施設条例

平成 15 年 3 月 14 日
呉市条例第 33 号

(目的及び設置)

第 1 条 美術、歴史遺産及び自然科学資料に関する市民の知識及び教養の向上を図り、文化の発展及び生命の尊厳を学び、並びに教育、学術研究及び文化交流に資するための施設を次のように設置する。

名称	位置
蘭島文化振興施設	呉市下蒲刈町地内

(事業)

第 2 条 蘭島文化振興施設は、次の事業を行う。

- (1) 美術品、朝鮮通信使・頼家に関する資料等の歴史的資料(以下「歴史的資料」という。)昆虫を始めとする自然科学資料(以下「自然科学資料」という。)等を収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供すること。
- (2) 美術品、歴史的資料、自然科学資料等に関する調査・研究、教育、指導及び知識の普及に関すること。
- (3) 美術、歴史文化、自然科学等に関する講演会、講習会、講座等を開催すること。
- (4) 自然保護に関する調査・研究及び技術的指導に関すること。
- (5) 市内外の人々の交流及びコミュニティの場を提供すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事業。

一部改正〔平成 27 年条例 2 号〕(指定管理者による管理)

第 2 条の 2 市長は、第 1 条に規定する目的を効果的に達成するために必要があると認めるときは、指定管理者(地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 2 第 3 項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に蘭島文化振興施設の管理を行わせることができる。
追加〔平成 17 年条例 116 号〕、一部改正〔平成 27 年条例 2 号〕

(指定管理者が行う業務)

第 2 条の 3 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 蘭島文化振興施設の施設、設備、展示品等(以下「施設等」という。)の維持及び管理に関する業務
- (2) 第 2 条各号に掲げる事業に関する業務
- (3) 蘭島文化振興施設のうち、別表第 1 に掲げる施設への入館及び別表第 2 に掲げる施設(以下「許可施設」という。)の使用の許可に関する業務
- (4) 前 3 号に掲げる業務に付随する業務追加〔平成 17 年条例 116 号〕

(指定管理者が行う管理の基準)

第 2 条の 4 指定管理者は、法令、この条例、この条例に基づく規則その他市長が定めるところに従い蘭島文化振興施設の管理を行わなければならない。
追加〔平成 17 年条例 116 号〕、一部改正〔平成 27 年条

例 2 号〕

(開所時間及び休所日)

第 3 条 蘭島文化振興施設の開所時間及び休所日は、規則で定める。

全部改正〔平成 17 年条例 116 号〕、一部改正〔平成 27 年条例 2 号〕

(使用の許可)

第 3 条の 2 許可施設を使用しようとする者は、市長(蘭島文化振興施設の管理を指定管理者に行わせる場合は指定管理者。以下この条、第 6 条及び第 7 条において同じ。)の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に際し、蘭島文化振興施設の管理運営上必要があるときは、その使用について条件を付することができる。

追加〔平成 17 年条例 116 号〕、一部改正〔平成 27 年条例 2 号〕

(入館料等)

第 4 条 蘭島文化振興施設のうち、別表第 1 に掲げる施設に入館しようとする者は入館料を、許可施設について前条第 1 項の規定により使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は施設使用料を市長に納付しなければならない。ただし、指定管理者に蘭島文化振興施設の管理を行わせる場合は、この限りでない。

2 入館料及び施設使用料(以下「入館料等」という。)の額は、別表第 1 及び別表第 2 に定める額とする。
一部改正〔平成 17 年条例 116 号〕

(利用料金)

第 4 条の 2 蘭島文化振興施設のうち別表第 1 に掲げる施設に入館しようとする者又は使用者は、前条第 1 項ただし書に規定する場合は、蘭島文化振興施設の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金の額は、別表第 1 及び別表第 2 に定める額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。
追加〔平成 17 年条例 116 号〕

(入館料等の前納)

第 4 条の 3 蘭島文化振興施設のうち別表第 1 に掲げる施設に入館しようとする者又は使用者は、入館料等又は利用料金を前納しなければならない。ただし、市長(蘭島文化振興施設の管理を指定管理者に行わせる場合は指定管理者。第 5 条において同じ。)が特別な理由があると認めたときは、この限りでない。

追加〔平成 17 年条例 116 号〕

(入館料等の減免)

第 4 条の 4 市長は、特別な理由があると認めたときは、入館料等を減免することができる。ただし、指定管理者に蘭島文化振興施設の管理を行わせる場合は、この限りでない。

2 指定管理者は、前項ただし書に規定する場合は、市長が定める基準に従い、利用料金を減免することができる。
追加〔平成 17 年条例 116 号〕

(入館料等の返還)

第5条 既納の入館料等又は利用料金は、これを返還しない。ただし、市長が特別な理由があると認めたときは、入館料等又は利用料金の全部又は一部を返還することができる。

一部改正〔平成17年条例116号〕

(入館及び使用の許可の制限)

第6条 市長は、蘭島文化振興施設に入館し、又は許可施設を使用しようとする者が、次の各号のいずれかに該当するときは、当該入館又は許可施設の使用を拒否することができる。

- (1) 公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 風致を害し、又は風紀を乱すおそれがあると認められるとき。
- (3) 施設等を滅失し、又は損傷するおそれがあると認められるとき。
- (4) 専ら営利を図る目的で使用するおそれがあると認められるとき。
- (5) その他管理上支障があると認められるとき。

一部改正〔平成17年条例116号・27年2号〕

(退去命令及び使用の許可の取消し等)

第7条 市長は、入館者又は使用者(以下「入館者等」という。)が、次の各号のいずれかに該当するときは、蘭島文化振興施設からの退去を命じ、又は当該使用の許可を取り消すことができる。この場合において、入館者等が損害を受けることがあっても、市又は指定管理者は、その責めを負わない。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 前条各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 許可された目的以外に許可施設を使用したとき。
- (4) 使用の許可に係る条件に違反したとき。

一部改正〔平成17年条例116号・27年2号〕

(原状回復)

第8条 使用者は、その使用を終了したとき又は使用の許可を取り消されたときは、直ちに使用場所を原状に回復しなければならない。

一部改正〔平成17年条例116号〕

(損害賠償)

第9条 入館者等は、施設等を滅失し、又は損傷した場合は、不可抗力によるときを除き、その損害を賠償しなければならない。

一部改正〔平成17年条例116号〕第10条 削除〔平成17年条例116号〕

(施行規定)

第11条 この条例に定めるもののほか、蘭島文化振興施設の管理運営について必要な事項は、規則で定める。

一部改正〔平成17年条例116号・27年2号〕

付則

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

付則(平成17年12月27日条例第116号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に改正前の第10条第1項の規定により公共的団体に管理を委託している蘭島文化振興施設の管理については、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により蘭島文化振興施設の管理に係る指定をする日までの間は、なお従前の例による。

付則(平成18年12月25日条例第65号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

付則(平成24年12月19日条例第50号)

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前になされた申請に係る使用料については、なお従前の例による。

付則(平成27年1月8日条例第2号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

付則(令和元年12月27日条例第40号)

(施行期日)

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前になされた申請に係る使用料については、なお従前の例による。

別表第1(第2条の3、第4条、第4条の2、第4条の3関係)

名称	種別	金額(一人1回につき)
蘭島閣美術館	一般	個人 500円
		20人以上の団体 400円
	高校生	個人 300円
		20人以上の団体 240円
	小・中学生	個人 200円
		20人以上の団体 160円
蘭島閣美術館別館	一般	個人 300円
		20人以上の団体 240円
	高校生	個人 180円
		20人以上の団体 140円
	小・中学生	個人 120円
		20人以上の団体 90円
白雪楼	一般	個人 400円
		20人以上の団体 320円
	高校生	個人 240円
		20人以上の団体 190円
	小・中学生	個人 160円
		20人以上の団体 120円
松清園	一般	個人 800円
		20人以上の団体 640円
	高校生	個人 480円
		20人以上の団体 380円
	小・中学生	個人 320円
		20人以上の団体 250円
昆虫の家「頑愚庵」	一般	個人 300円
		20人以上の団体 240円
	高校生	個人 180円
		20人以上の団体 140円
	小・中学生	個人 120円
		20人以上の団体 90円
三之瀬御本陣芸術文化館	一般	個人 300円
		20人以上の団体 240円
	高校生	個人 300円
		20人以上の団体 240円
	小・中学生	個人 200円
		20人以上の団体 160円

備考

- 1 この表において、「高校生」とは15歳に達する日以後の最初の4月1日から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者並びにこれ以外の者で学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する高等学校、高等専門学校(第4学年及び第5学年に在学する者を除く。)及びこれらに準ずる学校に在学するものをいい、「小・中学生」とは同条に規定する小学校、中学校及びこれらに準ずる学校に在学する者をいい、「一般」とは「高校生」、「小・中学生」及び小学生未満の未就学児以外の者をいう。
- 2 呉市に在住し、又は呉市内の学校に通学する高校生及び小・中学生は、無料とする。
- 全部改正〔平成18年条例65号〕、一部改正〔平成24年条例50号〕

別表第2(第2条の3、第4条、第4条の2関係)

施設	利用区分	金額
春蘭荘	1日につき (20時間以内)	60,000円
	宿泊加算料金	一人につき1泊1,200円
松籟亭	1回につき (5時間以内)	1,400円
	超過料金	1時間までごとに300円
煎茶室	1回につき (5時間以内)	800円
	超過料金	1時間までごとに160円

一部改正(平成17年条例116号・24年50号・令和元年40号)

蘭島文化振興施設条例施行規則

平成27年3月31日
呉市規則第35号

(趣旨)

第1条 この規則は、蘭島文化振興施設条例(平成15年呉市条例第33号。以下「条例」という。)第11条の規定により、蘭島文化振興施設の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(開所時間)

第2条 条例第3条の規定により規則で定める蘭島文化振興施設の開所時間は、次のとおりとする。

- (1) 条例別表第1及び別表第2に掲げる施設(春蘭荘を除く。)午前9時から午後5時まで。
- (2) 春蘭荘 全日

2 前項の規定にかかわらず、市長(蘭島文化振興施設の管理を指定管理者(条例第2条の2に規定する指定管理者をいう。以下同じ。))に行わせる場合は指定管理者。第4条、第55及び第7条において同じ。)は、必要により同項の開所時間を伸縮することができる。

(休所日)

第3条 条例第3条の規定により規則で定める蘭島文化振興施設の休所日は、次のとおりとする。

(1) 条例別表第1に掲げる施設

ア 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで。

イ 火曜日。ただし、火曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下この号において「休日」という。)に当たるときは、その翌日とし、当該翌日が休日に当たるときは、その直後の休日でない日。

(2) 条例別表第2に掲げる施設 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで。

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、同項の休所日以外の日において臨時に休所し、又は同項の休所日において臨時に開所することができる。

3 市長は、前項の規定により、臨時に休所し、又は開所しようとするときは、あらかじめ告示するものとする。

(使用の手続)

第4条 条例別表第2に掲げる施設(以下「許可施設」という。)の使用に係る許可を得ようとする者は、蘭島文化振興施設使用申請書を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可をしたときは、蘭島文化振興施設使用許可書(以下「許可書」という。)を交付する。

3 第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、使用を開始する前に許可書を提示し、市長の指示に従わなければならない。

(使用期間の制限)

第5条 許可施設の使用は、引き続き5日間を超えることができない。ただし、市長が特別な理由があると認めたときは、この限りでない。

(優待券等)

第6条 市長は、特別の理由があると認める者に対して、優待券又は招待券を発行することができる。ただし、指定管理者に蘭島文化振興施設の管理を行わせる場合は、この限りでない。

(入館者等の遵守事項)

第7条 入館者又は使用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品に触れないこと。
- (2) 許可なく展示品の模写又は撮影を行わないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食又は火気の使用をしないこと。
- (4) 所定の場所以外に出入りしないこと。
- (5) 他の入館者又は使用者の迷惑となるような行為をしないこと。
- (6) 市長の指示に従うこと。

(帳票の様式)

第8条 この規則の施行に関し必要な帳票は、市長が別に定める。ただし、指定管理者に蘭島文化振興施設の管理を行わせる場合は、この限りでない。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、蘭島文化振興施設の管理運営について必要な事項は、市長が別に定める。

付則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度
年報

令和 5 年度

利用案内	・ ・ ・ ・ ・	86-87p
奥付	・ ・ ・ ・ ・	88p

主要施設



蘭島閣美術館

開館時間 9:00～17:00（入館は 16:30 まで） 火曜日休館、祝日の場合は翌日

らんとくかくびじゅつかん

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町三之瀬 200-1 TEL 0823-65-3066 FAX 0823-70-8022

蘭島閣美術館の入館料

一般 500 円（400 円） 高校生 300 円（240 円） 小・中学生 200 円（160 円）（ ）内は 20 名以上の団体料金



蘭島閣美術館別館

開館時間 9:00～17:00（入館は 16:30 まで） 火曜日休館、祝日の場合は翌日

らんとくかくびじゅつかんべっかん

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町三之瀬 195 TEL & FAX 0823-65-2500

蘭島閣美術館別館の入館料

一般 300 円（240 円） 高校生 180 円（140 円） 小・中学生 120 円（90 円）（ ）内は 20 名以上の団体料金



三之瀬御本陣芸術文化館

開館時間 9:00～17:00（入館は 16:30 まで） 火曜日休館、祝日の場合は翌日

さんのせごほんじんげいじゅつぶんかかん

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町三之瀬 311 TEL 0823-70-8088 FAX 0823-70-8044

三之瀬御本陣芸術文化館の入館料

一般 500 円（400 円） 高校生 300 円（240 円） 小・中学生 200 円（160 円）（ ）内は 20 名以上の団体料金



松濤園

開館時間 9:00～17:00（入館は 16:30 まで） 火曜日休館、祝日の場合は翌日

しょうとうえん

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町下島 2277-3 TEL 0823-65-2900 FAX 0823-65-2711

松濤園の入館料

一般 800 円（640 円） 高校生 480 円（380 円） 小・中学生 320 円（250 円）（ ）内は 20 名以上の団体料金



白雪楼

開館時間 9:00～17:00（入館は 16:30 まで） 火曜日休館、祝日の場合は翌日

はくせつろう

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町三之瀬 197 ＊お問い合わせは蘭島閣美術館へ。

白雪楼の入館料

一般 400 円（320 円） 高校生 240 円（190 円） 小・中学生 160 円（120 円）（ ）内は 20 名以上の団体料金



昆虫の家「頑愚庵」

開館時間 9:00～17:00（入館は 16:30 まで） 火曜日休館、祝日の場合は翌日

こんちゅうのいえ「がんぐあん」

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町下島 2364-3 TEL & FAX 0823-70-8007

昆虫の家の入館料

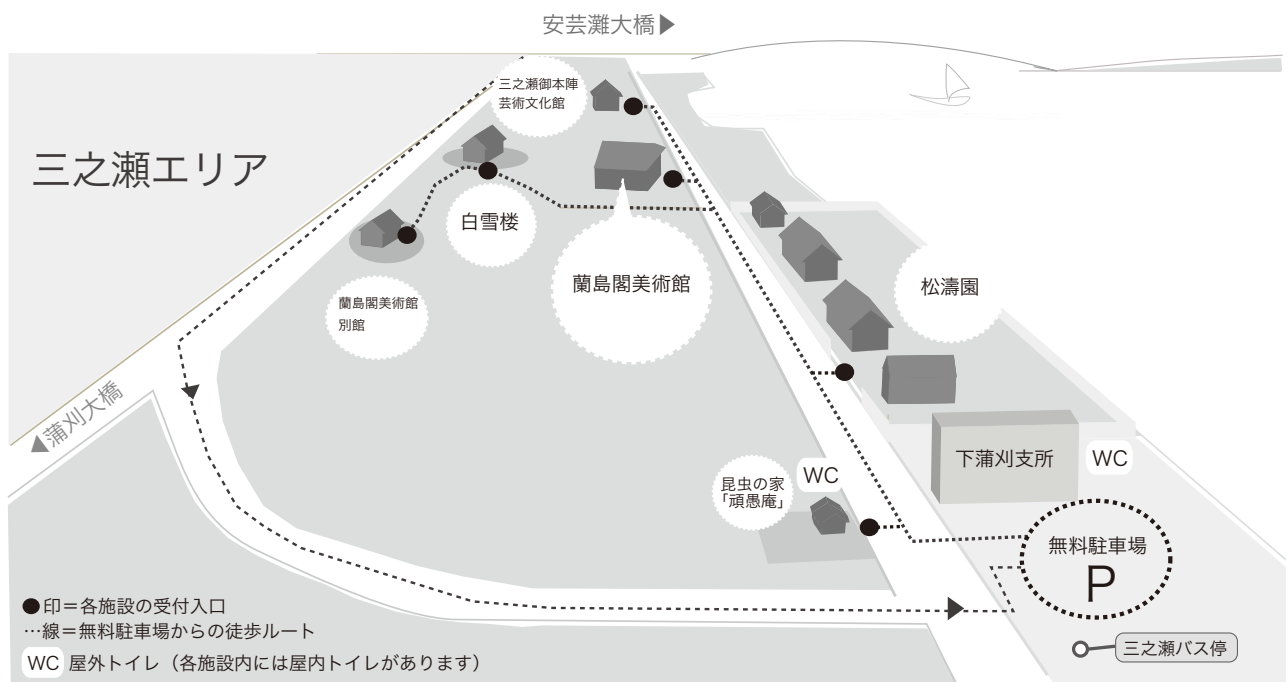
一般 300 円（240 円） 高校生 180 円（140 円） 小・中学生 120 円（90 円）（ ）内は 20 名以上の団体料金

全館共通▶入場料免除／特別割引対象

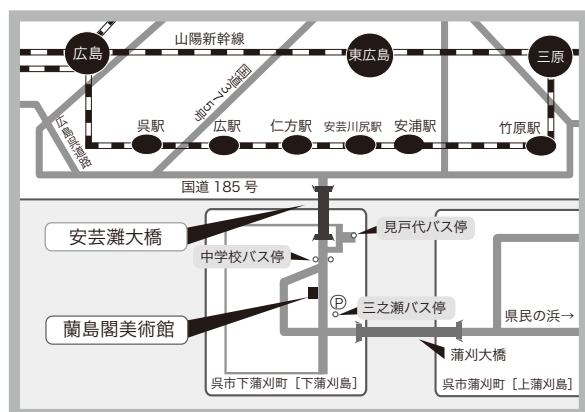
呉市内と園域（竹原市・東広島市・江田島市・熊野町・海田町・坂町・大崎上島町）居住の高校生、小・中学生は入館無料です。
呉市敬老優待証、被爆者健康手帳、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳をお持ちの方は入館無料です。
＊手帳をお持ちの方の介護者免除対象もございます。

特別割引 JAF カード、ちゅーピーカード、中国新聞文化センター会員証、エルフルカードご提示により、1 枚につき 3 名様まで団体料金で入館できます。

美術館周辺



地図



バスに関するお問い合わせ 瀬戸内産交株式会社 TEL 0823-70-7051

アクセス方法

マイカー

■広島市内から車で 60 分
 呉市内より国道 185 号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡る。最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用できます。駐車場から徒歩 260m。

電車とバス

■呉市内から電車・バス利用の場合
 JR 呉線で広島または仁方駅で下車。駅前最寄りバス停留所より瀬戸内産交バス「宮農センター・沖友天満宮方面」行き乗車。「三之瀬」停留所下車。美術館まで 260m。

所要時間

■広島市内から車で 60 分

広島市内 — 呉市下蒲刈町

■JR 広島駅からバス利用で 23 分

JR 広島駅前 — 三之瀬バス停

*利用案内は、指定管理する施設のうち、三之瀬エリアを中心として所在する施設を記載した。
 その他の、春蘭荘、松籟亭及び煎茶室は除く。

公益財団法人蘭島文化振興財団年報 2023（令和5）年度

発 行 日 2025（令和7）年7月

編集・発行 公益財団法人蘭島文化振興財団

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町下島 2361-7

TEL.0823-65-2029

FAX.0823-70-8079

<http://www.shimokamagari.jp>

公益財団法人蘭島文化振興財団
GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

公益財団法人蘭島文化振興財団
GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2023 年度
年報

令和 5 年度